

会長のページ	かかりつけ医	河野 雅行	3
日州医談	医師国保組合の統合・合併はあるか？	佐々木 究	4
就任挨拶	宮崎大学医学部教授就任挨拶	和田 啓	6
随 筆	春の生駒高原	石橋 俊秀	7
	昆虫食の時代到来	谷口 二郎	8
	永く続くために、ペース配分の難しさ	上田 孝	10
	開業について	杉田 幸雄	12
エコー・リレー (577)		蛭原 啓文, 井上 英豪	15
メディアの目	「夏」への思い	村岡 経世	17
身近なお困りごと相談室		高山 桂	20
国公立病院だより	串間市民病院	江藤 敏治	24
専門分科医会だより	(耳鼻咽喉科医会)	坪井 康浩	27
旅行記	81歳四苦八苦の四国遍路 その2	高崎 眞弓	28
ニューメンバー		松本 健吾	43
診療メモ	アレルギー免疫療法の過去・現在・未来	後藤 隆史	72
宮大医学部学生のページ	活気ある学生生活へ	早瀬 陸	74

あなたできますか？ (令和4年度医師国家試験問題より)	14
表彰・祝賀	16
宮崎県感染症発生動向	18
各郡市医師会だより	22
九州医師会連合会第408回常任委員会	30
九州医連連絡会第33回常任執行委員会	31
第1回各郡市医師会長協議会羽生田たかし参議院議員国政報告会 (各郡市医師連盟委員長会)	32
日医インターネットニュースから	34
医師協同組合だより	36
医師国保組合だより	38
ベストセラー	43
会員の異動・変更報告	44
理事会日誌	46
県医の動き	51
ドクターバンク情報	52
行事予定	59
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	63
あ と が き	82

お知らせ	令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	9
	医療事故調査制度	11
	カット・イラストの募集	13
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	21
	医師年金ご加入のおすすめ	26
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内	31
	地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について	50
	医療勤務環境改善支援センター	56
	日州医事へのご意見・ご感想	57
	第7回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	61
	郡市医師会への送付文書	76
	日州医事原稿募集のお知らせ	80
	日本医師会員向けキャッシュレスサービス	81

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

この百合の花

毎年6月、梅雨の時期になると送られてくる百合の花です。送り主は佐賀で何世代にもわたって農業を営む松野さんです。百合の花言葉は「純粹」「無垢」です。私も百合の花のように凛として生きていきたいと思います。

宮崎市 いし かわ まさこ
石 川 万佐子

会長のページ

かかりつけ医

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

「かかりつけ医」が話題になっています。松本日医会長が繰り返し発信しているように、「かかりつけ医機能」の強化は地域医療の充実面からも重要ですが、「かかりつけ医」は国民が選ぶものであり、国民に「かかりつけ医」を持つことを義務付けたり、割り当てたりするものではないのです。

わが国の地域医療の基本は「かかりつけ医」です。わが国では古くはムラ社会でほとんどの行事は自宅、地域内での完結型でした。出生から死亡まで冠婚葬祭すべてを近所の手伝いを受けながら自宅に対応していました。出産は産婆が、結婚や死亡は神職や僧侶が各戸を訪問していました。医療も同様で、私の出身地は人口2万人程で公立病院はなく、開業医は数えるほどで必然的に開業医がドクターコートのようにあらゆる疾病に対処していたようです。私の家族はケガでも風邪をひいても腹痛でもすべて近在の産婦人科を受診していました。看護師の数も少なく、中には医師と奥さんだけの診療所もあり、質の良否はともかく、少ない人数の開業医で地域医療を賄っており、専門科に関わらず自然に「かかりつけ医」が存在していたのです。当然、医師個人の負担や自己犠牲も大でしたが、足りない部分は地域で助け合い、手にあまる例は県立病院に搬送していたようです。これは日医の述べる「面としてのかかりつけ医機能」の先取りといえます。それでも医療訴訟などは縁遠いものでした。この形がいつまでも通用するとは思えませんが、今では病院や医師数が増えているにもかかわらず地域医療は不十分なようです。

各国を参考に、地域医療の充実が試みられています。しかし、二木立氏の講演によると英国では…、ドイツでは…、各国のよいところのみのつまみ食いをわが国に持ち込んでも無理があり「海外出羽守」はダメだそうです。

専門医志向が国民や医師に高まったのが「かかりつけ医機能」衰退の一因かもしれません。以前は限られたサブ専門領域が今では数えきれないほどに多く細分化しています。当然、全領域を賄うだけの医師数が必要になります。この風潮が続けば、医学部を増設し定員を増員しても地域医療を担うための医師数は簡単には充足しません。私見ですが、医師全員が専門に特化したスーパードクターになる必要はないと考えます。

今回のコロナ騒動により、多くの科の医師がワクチン接種に協力したのは素晴らしいことでした。皆が地域医療を理解し行動することが重要です。我々医療人は勿論ですが、為政者も医療の原点を見失ってはなりません。最も重要なのは国民が「地域のお医者さん」として「かかりつけ医」を受け入れることです。

(令和5年8月15日)

日州医談



医師国保組合の統合・合併はあるか？

宮崎県医師会 理事 ^{さ さ き} 佐々木 ^{きわむ} 究

経緯の概要

日本には現在3,400もの保険者が存在し、その数の多さは世界に類をみません。その背景には1920年以降、軍備費に国の予算を回さざるをえない状況下で、国民自らが地域、職場で自然発生的に保険組合を設立したことがあります。医療従事者に国民健康保険組合の設立が許可されたのは戦後のことで、1958年から59年にかけて各県に医師国保組合（医師国保）が設立されました。

人口が増加し、経済も右肩上がりの時代であれば数多くの保険者でも問題はなかったのですが、少子高齢化、人口減少、高額医療費の出現など、保険者を取り巻く環境は大きく変化しています。そのため多くの保険者が、統合・合併（合併）あるいは解散の問題に直面しています。

合併に関しては、組合設立の歴史的経緯上、国が主導することはなく、あくまで当事者同士の問題です。解散となれば、国が保険者である協会けんぽ、あるいは県が保険者である市町村国保が受け皿となります。

医師国保での合併の動き

医師国保でも合併が議論されていて、それには3つの理由があります。

1つ目は、補助金の削減による保険料の上昇です。医師国保の組合員は協会けんぽあるいは市町村国保にも加入できるので、この両者の保険料より低額であることが医師国保継続の条件とされてきました。ところが最近では市町村国保の保険料を上回る医師国保が現れるようになり、合併の議論に拍車をかけています。宮崎県医師国保（宮崎県）は安定して両者の保険料よりも低額です（図）。

2つ目は、組合員数が47都道府県すべての医師国保で減少していることです。組合員も75歳になれば後期高齢者医療制度に移行し、それに加えて子どもの数が減少しているのが原因で

す。一般に保険組合を運営するには少なくとも400名の組合員が必要とされています。宮崎県の組合員数は現在約1,400名で、問題はありません。

3つ目は高額医療費の問題です。血液、循環器、小児の代謝疾患などの治療では高額医療費が発生します。それらに備えて規模の大きな保険者にしようという動きです。

アンケート調査と合併のかたち

2022年に全国医師国保組合連合会（全医連）は、47都道府県の医師国保に対して合併の意向を確かめるアンケート調査を実施しました。その結果は、単独で運営を行うが70%、合併を希望するが15%、様子を見るが15%でした。仮に合併を行う場合のかたちとしては、47都道府県すべての医師国保が一体となって合併

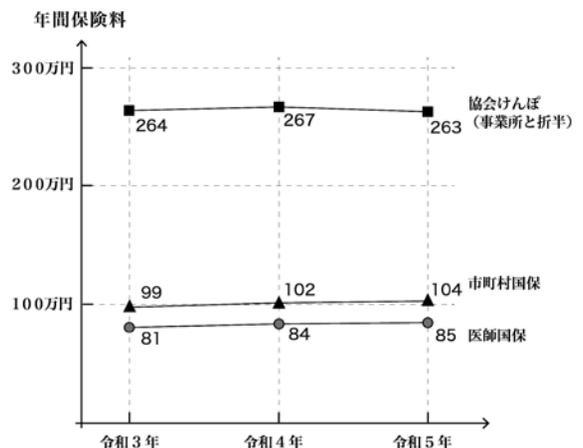


図. 3 保険者（宮崎県医師国保、協会けんぽ、市町村国保）の比較

モデルケースはA会員医師（年収2,500万円）、妻（年収600万円）、子ども1人の3人家族を用いた。市町村国保は宮崎市の保険料を用いた。宮崎県医師国保組合作成。

する案に最も賛同が多かったのですが、東京、大阪、愛知など、組合員の数では全国で1, 2, 3位の医師国保が単独での運営を希望していますので、この案の実現は困難です。そうなる現実的には地域ブロックでの合併が有力な方式です。

合併のシミュレーション

中四国ブロック9県が合併のシミュレーションを行いました。保険料に関しては平均化されるだけで、低額になることはありませんでした。保険料の高い組合は低くなりますが、低い組合は高くなります。また、合併をしても各県に保険料の徴収、給付、サービスのための支部を置く必要があり、事務経費の削減も期待できず、スケールメリットが感じられませんでした。その結果、保険料の高い2, 3県が合併を希望するのみで、合併の機運は高まっていません。

九州・沖縄ブロック8県でも各組合の立ち位置を知る目的もあり、合併のシミュレーションを行うことになりました。ちなみにアンケート調査で合併を希望するのは3県で、5県は単独での運営を希望しています。

合併の障壁

九州・沖縄での合併を考えるうえで、考慮することが2つあります。

1つは、各県の組合員の構成で、従業員とその家族の加入率に大きな違いがあることです(表1)。宮崎県は現在、従業員の加入はありません。従業員が加入するメリットは、雇用主が従業員の健康保険料の半額を負担する必要が

表1. 九州・沖縄8県の医師国保 組合員の構成

	組合員数 (人)	従業員とその 家族の割合 (%)
福 岡	11,885	34
佐 賀	1,604	21
長 崎	3,001	30
熊 本	3,038	25
大 分	3,388	62
宮 崎	1,448	0
鹿児島	2,453	13
沖 縄	1,094	5

2021年度のデータ。全医連、事業運営資料を参考に作成。

ないことです。デメリットは、従業員から高額な保険料を徴収することはできず、その分、医師組合員の負担が重くなります。実際、従業員の加入率の高い県では、医師組合員の保険料は市町村国保を上回るようになっていきます。仮にこの構成のまま合併すれば、宮崎県の保険料は今よりも高くなるでしょう。

もう1つは、県によって組合員一人当たりの医療費が異なることです(表2)。医療費の高いところと低いところでは35%の差があります。合併すると医療費の低い県は、高い県の肩代わりをすることになり、組合員の理解を得ることは困難です。この点からしても合併の困難さが理解できます。

表2. 九州・沖縄8県の医師国保 一人当たりの医療費(年間)

	一人当り 医療費(円) ¹⁾	平均との 比較 ²⁾
福 岡	203,002	101
佐 賀	218,825	108
長 崎	232,051	115
熊 本	177,311	88
大 分	172,080	85
宮 崎	206,805	102
鹿児島	223,886	111
沖 縄	186,043	92

1) コロナ禍前、2016, 17, 18年度の3年間の平均。全医連、事業運営資料を参考に作成。

2) 8県の一人当たり医療費の平均201,983円を100とする。

宮崎県医師国保の今後

宮崎県は合併によって得られるメリットは少ないと予測され、アンケート調査では単独での運営を選択しました。今の状況であれば、遠い将来はともかく、5年、10年先での合併の可能性はないと考えます。

宮崎県は積立金が潤沢にあったので、それを取り崩して保険料の値上げを最小限に抑える、戦略的な赤字経営を長年行ってきました。しかし単独での運営を続けるなら、高額医療費に備えて積立金を厚くしなければならず、黒字経営に戻す必要があります。そのためには保険料の値上げも必要ですので、組合員の先生方のご理解をいただきたく存じます。

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部機能制御学講座 蛋白質機能学分野 教授 和田 啓

宮崎県医師会の先生方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2023年4月1日より宮崎大学医学部 機能制御学講座 蛋白質機能学分野の教授を拝命いたしました和田啓と申します。昇任にあたりご挨拶申し上げます。

私は大阪で育ち、学位は大阪府立大学（現大阪公立大学）で取得いたしました。その後、大阪大学の博士研究員、助教を経て、2012年に宮崎大学のテニユアトラック推進機構の医学系教員として採用いただきました。この“テニユアトラック”プロジェクトとは、聞き慣れない単語とは思いますが、文部科学省の若手研究者育成プログラムの名称です。着任後5年間の研究成果が審査され、合格すれば正規雇用（テニユア職）が認められるプロジェクトとなっております。当時、いわゆる旧帝国大が主に採択されていたプロジェクトでしたが、宮崎大学も早い段階で採択されており、学長主導のもと若手が独立した研究室を実質的に主宰できる環境を整えておりました。本学は若手教員へのサポート体制が秀逸であったことから、非常に高く評価されておりました。私は、本学医学部の浅田祐士郎教授、片岡寛章教授にメンターとしてご支援をいただきながら研究活動に専念させていただきました。機構長である、当時の菅沼学長、池ノ上学長に研究成果を直接ご報告する機会もあり、さまざまなご専門の先生方からのご指導をいただくことができる素晴らしい環境で過ごさせていただきました。テニユア審査に合格し、2017年度から本学医学部への着任承認（准教授）をいただき、医学部機能制御学講座に蛋

白質機能学分野を新たに設置していただきました。その後、菱川医学部長、越本フロンティア科学総合センター長のお力添えも賜り、本年4月に教授に昇任させていただきました。

私の専門は、基礎研究であり構造生物学と呼ばれる領域になります。疾患の原因となる代謝系の蛋白質群、ウイルス粒子やその構成蛋白質などを研究ターゲットとして分子レベルでの研究を展開しております。蛋白質機能を分子レベルで理解するために、X線結晶構造解析やクライオ電子顕微鏡解析という、これまでに本学には専門家がいなかった手法を駆使して、立体構造を決定し機能解明を進めております。

当分野の研究手法は、肉眼では見ることができない原子・分子レベルの世界を可視化でき、蛋白質分子の機能を「化学の言葉」で説明しています。医学部教育においては、暗記ではなく、その背景にある分子レベルでの機能を捉えることで理論的に理解することを教育したいと考えております。

また、現在私は本学の研究支援部門であるフロンティア科学総合センターの分子細胞生物学解析ラボ西エリアのラボ長も務めさせていただいております。学内外に対して機器分析を通じた研究サポートを業務としております。もし先生方が発見された興味深い現象でお手伝いできそうなことがございましたら、ぜひお声がけいただけると幸甚です。

今後、本学のみならず、宮崎県の医学教育・研究活動の発展に貢献できるように尽力してまいります。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

随 筆

春の生駒高原

延岡市 井上病院 ^{いし}石 ^{ばし}橋 ^{とし}俊 ^{ひで}秀

令和5年5月3日（水曜日、祝日）に宮崎県小林市の生駒高原に出掛けた。

カーナビで「生駒高原」と名称を入力したらすぐ検索できた。小林インターから車で約10分の距離だった。ここは小林市南西部にあたる。入園料600円支払って入園した。

目の前にポピー畑が広がっていた（写真1）。白、黄色、ピンクや赤と彩とりどりの花が咲き誇っていて、約25万本もあるらしい（写真1）。沢山の人で賑わっていて、特にハート型のオブジェが人気だ。

また、淡いブルーのネモフィラ約40万本が今年は見られた（写真2）。キッチンカーも多数出店していて、「ぎょうぎ祭in生駒高原」のため、いろんな餃子が並んでいた。

「ポピー」は、ケシ科ケシ属の一年草・多年草である。世界中に150種ほどが確認されており、アヘンが採れるために栽培が禁止されている種類もある。日本でガーデニング用として栽培されているのは、主にシャーレーポピー、アイランドポピー、オリエンタルポピーだ。どれも花色がカラフルで、花のサイズも大きいので、群植すると迫力がある。草丈は30~80cmで、花壇の中段くらいで活躍。花茎を長く伸ばした頂部に咲き、株元が寂しくなりがちなため、手前に草丈の低い植物を合わせるとより華やかになる。

アイランドポピーは、別名シベリアヒナゲシ。原産地は南ヨーロッパで、寒さに強い一方、暑さには弱い性質。本来は宿根草だ。日本

の暑い夏には耐えられずに枯死するので、日本では一年草として分類されている。開花期は3~5月で、花色はオレンジ、黄、白、クリーム、ピンク、複色など。草丈は60~80cmほどだ。

「ネモフィラ」はカナダ西部からアメリカ合衆国西部・東南部、メキシコにかけて分布している。日照が多く、冷涼な気候を好む。比較的寒さに強い、耐寒性の一年草。草丈は10~20cm、茎は匍匐性（ほふくせい）で横に広がる。



写真1：彩とりどりのポピー



写真2：満開のネモフィラ

随 筆

昆虫食の時代到来

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たにぐちじろう
谷 口 二 郎

先日久しぶりに無印良品に行った。その食料品コーナーに立ち寄るとコウロギセンベイ(220円)を売っていた。えっ!? もしかして私の見間違いかな? まさかコオロギはセンベイにしないでしょ! それとも今日は4月1日エイプリルフール? と思った。しかもその横にはコオロギチョコ(220円)というのが置いてある。どうやらコオロギがその中に入っているのは間違いなさそうだ。調べてみると驚くことでもないらしい。これからは肉や魚に代わって昆虫が食料の中心になる時代が来るという。

NTTはすでに食用コオロギの生産に踏み切っている。約50cm四方の飼育柵に1,000匹を入れ、それを400箱も世話しているという。つまり40万匹コオロギを育てているということになる。この世話をするのは2~3人の従業員で可能だというから、人件費も低く抑えることができる。さてなぜコオロギなのか? それはコオロギは蛋白質を豊富に含む。しかも飼料が少なくて済み、牛のゲップなどによるCO₂増加など環境を汚すこともない。まさに養殖には最適なのである。

100匹分を粉末状にしたカップ麺“コオロギうどん”を売り出した人もいる。東京では『アントシカダ』というレストランがあり、色々な昆虫

食が食べられるそうだ。一風変わっているのは水中昆虫のタガメの肉。食べるとなんと洋ナシの香りがするという。その他にもハムシの幼虫。これは杏仁豆腐の香りがするそうだ。ちなみにフルコースを頼むと飲み物込みで11,000円。

その他にも『広島コオロギ』はアーモンドを混ぜた餌で香ばしい甘みがするそうだ。『京都コオロギ』は京野菜を餌にして優しい出汁が出るという。昆虫は消化器官が簡単にできているので、餌の味が出やすいという。徳島県の高松市ではコオロギ粉末入りのコロケが給食に出てきたそうだ。ということはこれから学校給食にコオロギをはじめいろいろな昆虫給食が食事として当たり前に出される可能性がある。

宮崎でもちりめんじゃこを食べさせた『ちりめんコオロギ』を発売している。これを食べるのは人間ではなくペットの爬虫類の生き餌として出荷している。私の娘は大の爬虫類好きで、学生のころ定期的に近くのペットショップで生きたコオロギを買ってきていた。餌として与えるためである。それをゲージに入っているトカゲがパクッと美味そうに食べていた。これからはそういう生きたコオロギもちりめんコオロギに取って代わるのであろうか。この会社では将来コオロギを小麦粉と混ぜたクリケットフラワ

一というものを売り出す予定だという。楽しみだ。さてなぜこんなに昆虫食が話題になるのだろうか、その一番の原因が将来考えられる食糧危機である。50年前35億人だった世界人口は今や80億人である。これ以上人が増えていくと食糧難に陥ってしまう。すでに今やかなりの人が飢餓に苦しみ、たくさんの人が亡くなっている。また地球温暖化で不作が続き、食べるものも安定しない。しかも世界中の人が肉を食べたいと肉牛を育てる。その飼料も限られている。そんな中比較的手を付けやすい昆虫食に目が向けられたのだ。それは10年前の2013年昆虫食

を奨励する報告書が国際連合食糧農業機関から出されたところから始まった。育てるのに狭い面積と少ない餌、短期的で飼育できるなど効率的に食料を供給できるということが昆虫食の最大のメリットだからである。

世界での昆虫食の市場規模は2019年には70億円だったが、2025年には1,000億円にもなるという。ちなみに私の家内は秋田の生まれ。小さいころからイナゴをよく食べていたそうで、昆虫食といわれてもあまり驚かないそうだ。ただしゴキブリを見つけると金切り声をあげるが…。

お知らせ

令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると、医師事務作業補助者になるための「32時間以上の基礎知識習得研修が免除」されるという大きなメリットがあります。

つきましては、本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいり所存ですので、会員諸先生方におかれましては、今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、なにとぞ、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

【就職希望者】 10名（男0名、女10名）

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

随 筆

永く続くために、ペース配分の難しさ

宮崎市 上田^{うえだ}脳神経外科 上^{たかし} 田^{たかし} 孝

私は中学2年生の9月に大阪市内の中学校から大阪府門真市の中学校に転校しました。ちょうど2学期が始まるのに合わせて新しい学校に移ったのでした。転入生の私は少年野球の経験と、前の中学校ではバレーボールをしていたことを、なぜか、担任の先生はそれを知っていて、新しいクラスメートに私をそう紹介してくれました。それが悲劇の始まりでした。2学期開始早々、体育祭の準備が始まりました。私はクラスメートの言うがまま、1,000mリレー（1人が200m走り、5人でリレーをする）のクラス対抗戦の選手に選ばれました。それほど足が速くない私はつい「ええよ！」と言ってしまいました。仲間と一緒に放課後、練習もそこそこにこなしました。いよいよ体育祭の本番です。午前中に予選（なんとといっても当時は1学年13組、1組50人のマンモス中学校でした）を行い、上位6チームが午後の決勝に進みます。今と違って当時は走る競走競技が多かったようです。幸い我が13組は決勝に進みました。お昼休みの弁当の時間になり、クラスメートの川上君（ラグビー部で頑丈そうな彼）から、苦しそうに「頼む、上田。」と言われました。彼は午前中のスウェーデンリレー（第1走者が100m、第2走者が200m、第3走者が300m、第4走者

のアンカーが400m走り、リレーするという競技で、体育祭では最後の最高の花形のイベントです）のアンカーでした。そして彼は悠々の1位でゴールしたのでした。クラスの夢と希望は膨らんでいました。ところが彼は、「上田、頼むから俺と代わってくれ。午前走ったら、腹が痛くて吐きそうなんだ。お願いだから代わって出してくれ。」と。私は、いつもの調子で「ええで」と軽くOKしました。まあ、なんとかなるだろう。さて、午後の部というか体育祭最後のメインイベント、クラス対抗スウェーデンリレーの決勝が始まりました。第1走者、第2走者、第3走者、さすがに強い我が2年13組は堂々の1位で私にバトンを渡すではありませんか。1周が200mのトラック、ちょうど2周すればいいだけのことです。それまで何度も200mの練習をしたではありませんか。軽い軽い。トップでバトンをもらった私は、猛然とダッシュしました。1周目の私は1位で校長先生、教頭先生、PTAの役員、来賓の先生方、放送部員たちのいるテントの前のホームストレッチを颯爽と走りました。「上田、がんばれ！キャー、上田君、素敵ー。格好えーぞ！」すごい声援が私の目の前と右側から聴こえてきました。ところがです。2周目のバックストレッチ

を抜けたところです。急に足が動かなくなりました。「あれっ、あれれ。」第4コーナーを回ったところで足が空回りし、悲しいかな、足がもつれて転倒してしまいました。ゴールテープは目の前でした。「あっ。」という悲鳴のような落胆の音が遠くで聞こえました。明らかに私のペース配分の間違いと準備不足でした。すべてが終わりました。14歳の秋のことでした。最も高い得点がもらえるリレーで、我が13組は6位で点数は0でした。その瞬間からでした。クラスメート（と私は思っていました）の女子の一部の生徒から、冷たい視線を感じました。小さなつぶやき声で「何よ、最低ね、上田君で。あーあー、残念だわ。優勝してたのに、がっかり。」体育祭終了式で成績発表がありました。頭の中が混乱して、何位だったかは覚えていません。このまま学校をやめよう。退学しよう。家にも帰らずに自殺しよう。いろいろなこ

とを考えました。担任の木村先生はクラス全員を教室に集めました。「皆お疲れさまでした。よく聴いてくれ。決して上田君を責めてはいかんぞ。彼は、川上君が体調が悪くて急遽午後の決勝に走れないときに、上田君は自分もしんどい筈なのに引き受けてくれて、一所懸命走ってくれたんだぞ。皆は上田君に感謝せんといかんぞ。」男子のクラスメートが拍手してくれて、それから女子も拍手をしてくれました。私は本当に木村先生に助けて戴きました。確か木村先生は28歳と若く、独身だったはずですが。今振り返ってみて、本当に素晴らしい先生でした。その後の私の人生に強い影響を与えてくれました。そして相手を思いやる優しい心の大切さを習いました。ペース配分を考えながら、あせることなく、あわてることもなく、末永く患者様と楽しく接することができますように、あの日のことを思い出しながら日々の医療に励んでおります。

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。

随 筆

開業について

宮崎市 杉田眼科医院 ^{すぎ}杉 ^た田 ^{ゆき}幸 ^お雄

私が開業したのは昭和42年であるから今から56年前である。当時眼科の開業医は5名、勤務医は県病院に1名、計6名である。私は父が開業しており、その後を継いだので新規の開業ではない。当時も入院設備はあったが長屋スタイルで、入院患者さんはすべて自炊生活で家族ぐるみの入院も珍しくなかったのである。

私が父から引き継ぐときはまず病室を新しく建て直した。入院患者さん14名、風呂トイレ付の特別室2つ、それにレーザー室を後で継ぎ足した。当時のレーザー設備は水冷式で配管が大変であった。当時休みはなく、日曜日も午前中は診療をしていた。さすがに休みなしの1週間診療は大変である。日曜日もどこにも遊びに行けない。おまけに急患が来たら真夜中でも診察をしていた。それまでは大学、県病院では日曜日は休み、土曜日は半ドン、その他用事があれば適当に休みが取れ大変楽な生活が開業したら生活が一変したのである。

開業してまず手始めに日曜日は休むことにし、次は土曜日を半ドンにしたことは大改革であるが、土曜日は外来患者さんが一番多く12時30分までの診療時間が15時過ぎまでという日がザラである。宮崎市内の6名の眼科医のうちオペをするのは3名のみである。私以外の2名

のドクターは結構な年で積極的にオペをされないので、外傷の急患はすべて私のところに廻されたため、休みらしい休みが取れないのである。急患も昼間であればスタッフが揃っているので処理できたが、夜中の急患はお手上げである。病棟に泊まりの看護婦1人では対処できないことがあり、開業の辛さを味わうことになる。重症で夜の急患の場合は私1人では対処できないことがあるが、悪戦苦闘してオペすることになる。この場合結果が怖いことになることもあるが、やるだけはやらねばならない。特に夜中の急患は外傷が多く、そのほとんどが酒のうへのトラブルである。大けがをしているのに本人は泥酔状態で、傷口を縫い合わせるにも大人しくするわけではなく、暴れるので、途方に暮れるのであるが、眼球破裂や虹彩脱出の場合などは酔いが醒めるまでは、消毒のみで大変である。酔い覚めの水を大量に飲ませ、抗生剤や消炎剤などの応急処置で朝を迎えるわけである。

当時宮崎市には医大はなく県病院も眼科医不在のときがあり、開業医が処理するしかない。医者になり大学医局で2年、それから県立日南病院で2年の経験しかなく、いきなりの開業である。相談する相手も難治の患者さんを回すところもなく、荒海に放り出されるようなもので

ある。当時の患者さんたちは善良でクレーマーなどいなかったのが救いである。当時は医学書も少なくビデオなどもなく、参考にするような物がなかったのですべて独学である。検査機械類がほとんどなく眼底検査は凹面鏡を使った倒像検査のみである。手術用顕微鏡などなくオペは拡大鏡のみである。何がなくてもどうにかこなせたのが不思議なくらいである。一番苦労したのは眼球破裂や急性緑内障などである。急性緑内障の眼圧を下げるために当時はグリセリン（下剤）をコップ一杯飲ませたものである。なんやかんやと悪戦苦闘して診療したのが今では苦いような懐かしい思い出である。

私も10月で88歳になるが、日本中を旅する

ことが夢である。神様お願い私にご褒美をください。お願いします。神様も日本中からお願いされて大変だね。

ここで川柳

世間は甘くないのである

『夢に見た 憧れの開業 イバラかな』

オーナーのような小使いのような微妙な立場である

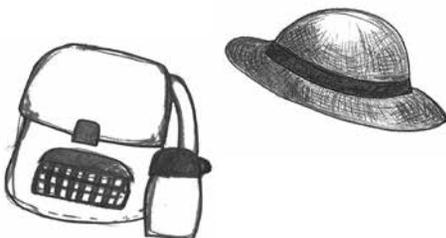
『開業は 一人天下と 錯覚し』

1週間が長いこと

『日曜日 早く来ないか まだなのか』

お知らせ

カット、イラストの募集



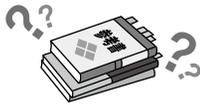
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp



あなたできますか？

—令和4年度 医師国家試験問題より—

(解答は45ページ)

- 病歴聴取で、家族内に同じ疾患の患者が存在することが、診断に最も有用な疾患はどれか。
 - 心房細動
 - 肥大型心筋症
 - 冠攣縮性狭心症
 - 大動脈弁狭窄症
 - 心サルコイドーシス
- 失神をきたしうる疾患と失神の誘因との組合せで誤っているのはどれか。
 - 起立性低血圧 ————— α 遮断薬投与
 - 頸動脈洞症候群 ————— 頸部の伸展
 - Brugada 症候群 ————— 発熱
 - 完全房室ブロック ————— 安静臥位
 - 閉塞性肥大型心筋症 ————— 激しい運動
- 院内感染の対策として陰圧空調の個室で管理すべきなのはどれか。
 - インフルエンザ
 - ウイルス性胃腸炎
 - 肺結核
 - 流行性角結膜炎
 - 流行性耳下腺炎
- やせと続発性無月経の学生アスリートの診療で注意すべき合併症はどれか。
 - 瘰癧
 - 脂肪肝
 - 骨粗鬆症
 - 下垂体腺腫
 - 子宮腺筋症
- トリアージタグ〈識別札〉について誤っているのはどれか。
 - 傷病者識別のために使用する。
 - 我が国の規格は統一されている。
 - 装着はどの部位に付けても構わない。
 - 多数の傷病者が同時発生したときに使う。
 - 死亡している場合は黒色タグを装着する。
- 膀胱の蓄尿症状はどれか。2つ選べ。
 - 尿意切迫感
 - 尿勢低下
 - 排尿遅延
 - 腹圧排尿
 - 夜間頻尿
- 出生後、緊急で治療介入が必要な疾患はどれか。
 - 心房中隔欠損症
 - 心室中隔欠損症
 - 完全大血管転位症
 - 部分肺静脈還流異常症
 - 房室中隔欠損症〈心内膜床欠損症〉
- 高齢者が転倒した際、骨折をきたしやすい部位はどれか。3つ選べ。
 - 上腕骨
 - 大腿骨
 - 橈骨
 - 脛骨
 - 腓骨
- 86歳の女性。10年前に脳梗塞を発症して寝たきりとなった。重度の認知症があり、自宅で家族が介護してきたが、四肢関節の拘縮が徐々に進行し、最近では体位変換も困難である。訪問診療に訪れたところ、和室の布団に右側臥位で寝ている。股関節は90度屈曲位で拘縮しており、うなり声をあげている。身長154cm、体重42kg。体温36.2°C。脈拍76/分、整。血圧122/68mmHg。呼吸数18/分。

診察に際して正しいのはどれか。

 - 表情をみながら触診する。
 - 浮腫の有無は左半身で判断する。
 - 股関節を完全伸展させてから診察する。
 - 声を出さないよう指示してから聴診する。
 - 打診は疼痛が疑われる部位に繰り返し行う。
- 67歳の男性。腹部膨満感、右季肋部痛およびふらつきを主訴に来院した。半年以上前から右季肋部痛を自覚していたが、3か月前から痛みが増強するとともに腹部膨満感が出現、1か月前から黒色の軟便が見られるようになり、2週間前からふらつきが強まった。ここ3か月で体重が5kg減少している。意識は清明だが、問診の意味が把握しにくいようで、聴覚障害と軽度の知的障害が疑われる。身長154cm、体重53kg。体温35.9°C。脈拍84/分、整。血圧112/72mmHg。呼吸数13/分。眼瞼結膜は蒼白で眼球結膜に軽度黄染を認める。腹部は膨満しており、波動を認める。両下腿に強い浮腫を認める。一人暮らしで身寄りがなく、生活保護を受けている。民生委員が同伴で受診しており、問診の際も民生委員を介して聞き取りを行ったが、生活状況などについて十分な情報が聴取できない。

まず取るべき対応で正しいのはどれか。

 - 医師が患者に代わって診療方針を決定する。
 - 診療方針について患者本人に説明し意向を聞く。
 - 民生委員を成年後見人とみなして診療方針について相談する。
 - 患者本人の意思決定困難を理由にこれ以上の検査治療を行わない。
 - 医学的検査の結果に基づき、客観的に治療の適否や内容を決定する。

エコー・リレー

(577回)

(南から北へ北から南へ)

聞いていただきたい話があります。

都城市 もちお 蛸原医院 蛸原 啓文



私は宮崎西高校の普通科1期卒、防衛医大は4期卒です。コロナ禍のはるか以前からお酒も飲まず、人付き合いも少なく、面白いことがあっても思いついても

なかなか人に話す機会がありませんでした。が、今回西高同期の岩城君からエコー・リレーの話をいただき、この機会を得ました。

① 不思議なことが起こりました。ある風の強い日のことでした。患者さんもそれほど多くなくボーッとしていたらふっと予言が降りてきました。(風に乗ってお金が飛んでくる)これをスタッフに告げると、駐車場に落ちてないか探しに行きました。そこでなんと1万円札が3枚も風に舞っていたと拾ってきたのです。このとき、私には何か凄い力が授かったのではないかと密かに信じたのですが、その後、降りてきた予言が具現化することは今まで一度もありません。ちなみにそのお金は患者さんがポケットから診察券を出すときに一緒に落としたそうで、すぐにご本人に返すことができました。

② 吉野家で、「牛丼並、肉だくで！」と元気にオーダーしたところ、店員さんに「それはアタマの大盛り！」と指導されました。肉だく牛丼とは別とのこと。

③ あるアパレルショップ、メンズコーナーで「このTシャツの素材は“綿”ですか」と尋ねたら、店員さんが「ハイ“men's”です」と元気に答えてくれました。ありがとう！

[次回は、延岡市の丸山洋一郎先生をお願いします]

これからも元気で頑張ろう！

延岡市 いのうえ整形外科クリニック 井上 英豪



福岡・久留米市から移住して、延岡の地で開業し、はや6年目になりました。毎日の診療の中で疲弊している中で、私の癒しは一杯のお酒と娘と戯れることです。娘といいましても本当

の娘は高校3年生でなんとか戯れるどころか彼女の話についていくことがやっとです。疲れた私と遊んでくれる娘は皆様お察しのとおりペットであります。

その娘との出会いは開業して2か月の初夏でした。蝉の声に導かれ早朝、院内の敷地内を散歩していると、赤子のような声が植え込みから聞こえ、急いで近づくと生まれたばかりと思しきハチワレの子猫が必死に鳴いていたのでした。その娘の目は眼脂のため半開きで、頸部におそらくカラスなどに襲われた傷があり浸出液を認め、明らかに化膿しており瀕死の状態でした。獣医に連れて行く暇もなく、眼脂に対しクラビット点眼、創は毎日排膿し抗生剤を内服させました。その結果wildな彼女はメキメキ回復し、美しいお姫さんになりました。

現在元気に6歳を迎え人間でいえば40歳になるそうです。猫らしくとても気まぐれですが、きっと私を父親と思い、気が向けば必死にヒャアヒャアと、おしゃべりします。子どものときの傷のせいでアトピー気質ですが、嫌がる彼女に無理やり、抗ヒスタミン薬を飲ませ我流で治療しています。

整形外科の患者さんは愁訴も多く辛い日もあります。癒しをもらうお返しに、君が痒いときはいつでもポリポリしてあげるよ。だから「タラちゃん」お互い元気に頑張りましょう！

[次回は、宮崎市の獅子目亨先生をお願いします]

表彰・祝賀

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

こ 小 徳 むら 村 三 い 井 やま 山 あぐ みや 宮	まき 牧 だ 田 た 田 うら 浦 で 手 もと 本 ね 根 ぎ 崎	ひとし 齋 ご 吾 ひろし 博 こ 子 みのる 稔 たけし 剛 いち 隆 ゆう 裕	先生 (宮 崎) 先生 (宮 崎) 先生 (宮 崎) 先生 (都 城) 先生 (延 岡) 先生 (延 岡) 先生 (西 諸) 先生 (西 諸)	せん 先 なが 永 あり 有 や 矢 の 野 いわ 岩 その 藺	なり 成 さ こ 迫 ま 馬 の 野 だ 田 み 見 だ 田	えい 英 ふみ 文 まさ 政 ひろ 博 しょう 省 あき 晶 みち 通	いち 一 よ 代 てる 輝 み 美 じ 治 おみ 臣 ひろ 広	先生 (宮 崎) 先生 (宮 崎) 先生 (都 城) 先生 (都 城) 先生 (延 岡) 先生 (西 都) 先生 (西 諸)
---	---	--	--	---	--	--	--	--

令和5年8月22日、学校保健関係功勞により県教育長表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



小牧 先生



先成 先生



徳田 先生



永迫 先生



村田 先生



有馬 先生



三浦 先生



矢野先生



井手 先生



野田 先生



山本 先生



岩見 先生



莫根 先生



藺田 先生



宮崎 先生

メディアの目



「夏」への思い

読売新聞 宮崎支局長

むら おか つね よ
村 岡 経 世

夏の甲子園出場を目指す地方大会の取材は、多くの新聞記者が若手のときに経験する。その分、年月を経ても高校野球ファンの記者は相当数いると思っている。今夏、体調を崩した若手記者の「代打」の形で、十数年ぶりに高校野球取材のうれしい機会が巡ってきた。

7月12日の2回戦。宮崎商業高の応援スタンドに「奪還」と描かれたパネルが置かれているのに気付いた。目指す奪還とは、2021年以来の夏の県大会優勝だ。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で20年の甲子園大会は中止。同校は21年、再開された「夏」への出場権を得たものの、現地入り後に関係者の感染が分かり、出場辞退した。

今年の3年生は、当時の1年生。あこがれの地での試合を諦めざるを得なかった先輩たちの無念を肌で感じた最後の世代だけに、コロナ禍を経て今夏にかける思いに着目した。

チームは試合中盤に逆転を許し、追加点も奪われた。勝利を信じて死力を尽くしたが、及ばなかった。

試合終了後、涙が止まらない主将にあえて「奪還」について聞いた。主将は嗚咽しながら「先輩たちの思いを取り返せなかったことがつ

らいです」と絞り出した。未知の感染症に翻弄された悲劇は、球児の胸に今も色濃く残っていることを知らされた。

一方、今大会のスタンドには、熱い声援が戻ってきた。新型コロナの感染症法上の分類が5類に引き下げられてから初めての開催。声だし応援が4年ぶりに認められた。

強豪・日南学園高の野球部は、部員90人余りの大所帯。ベンチ入りできるメンバーは20人に限られるため、大半の部員は応援の役割を担う。今年はメガホンを口にあて、大声で選手たちを鼓舞した。

取材した2回戦で同校は勝利した。2安打を放った主将は「声援が聞こえると、メンバーに選ばれている自覚が増す。声に後押しされた」と仲間への感謝を口にした。声援は立場が違う部員たちの心をつなぐ糸の役割を果たしていた。

新型コロナは多くの人たちの「濃い青春」に影響を及ぼした。以前のような日常を少しずつ取り戻しつつある社会の歩みが逆戻りしないよう、記事を通じて警鐘を鳴らし続けることが大切だ。球児たちの思いに触れ、あらためてそう感じた。

宮崎県感染症発生動向 ～7月～

令和5年7月3日～令和5年7月30日（第27週～第30週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核6例（男性4例・女性2例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：報告なし。

4類：報告なし。

5類：○ウイルス性肝炎1例：延岡保健所管内から報告があった。10歳代の男性で，病型はB型であった。主な症状として全身倦怠感，嘔吐，褐色尿，発熱，肝機能異常，黄疸がみられた。

○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）で，診断の確実度は疑いであった。主な症状として進行性認知症，ミオクロヌス，錐体路症状，錐体外路症状，記憶障害，筋強剛がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳で，主な症状として発熱，意識障害，項部硬直，髄膜炎がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

○梅毒10例（男性4例・女性6例）：宮崎市（6例），延岡（3例），都城（1例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は【表3】，病型別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹がみられた。

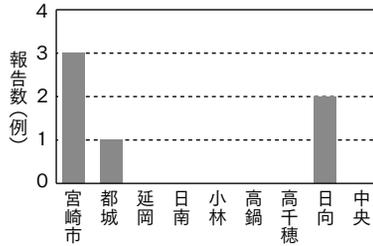


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数

肺結核	3
肺結核及びその他の結核(粟粒結核)	1
その他の結核(結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	1

表2 結核 年齢別報告数

年齢	報告数
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	2
90歳代	1

表3 梅毒 年齢別報告数

年齢	報告数
20歳代	5
40歳代	4
50歳代	1

表4 梅毒 病型別報告数

早期顕症梅毒Ⅰ期	4
早期顕症梅毒Ⅱ期	3
無症状病原体保有者	3

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は9,647人（定点あたり193.1）で，前月の103%，例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の246%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症と水痘で，減少した主な疾患はRSウイルス感染症，咽頭結膜熱，感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，RSウイルス感染症，手足口病及びヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は5,131

■病原体検出情報（微生物部）

		検出病原体	件
細菌		EPEC (OUT:H51)	1
		EPEC (OUT:HNM)	1
		EPEC (OUT:HUT)	1
		EHEC (O26:H11)	2
		Salmonella Enteritidis (O9:g,m:-)	1
		Parainfluenza virus 3	1
ウイルス		RS virus	1
		Influenza virus AH3	4
		Rhino virus	3
		Coxsackievirus A10	1
		SARS-CoV-2	3

人(88.5)で前月の約3.0倍であった。高千穂(147.0)、延岡(131.1)、中央(102.0)保健所からの報告が多く、20歳未満が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は522人(14.5)で前月の約0.3倍、例年の約7.4倍であった。小林(40.7)、日向(21.5)、延岡(20.8)保健所からの報告が多く、1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2023年7月〉

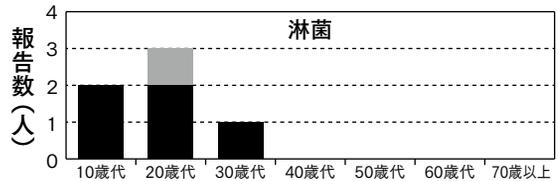
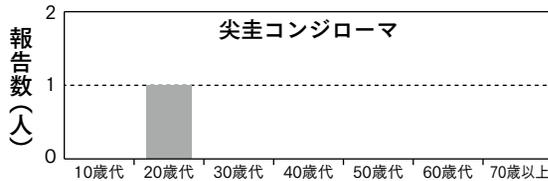
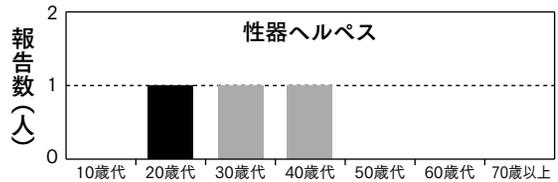
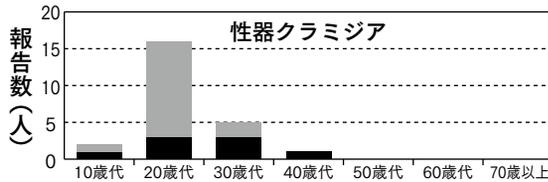
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比77%と減少した。また、昨年7月(3.7)の約0.7倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人(1.9)で、前月と同程度、昨年7月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。(男性8人・女性16人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の0.5倍、昨年7月の約0.3倍であった。(男性1人・女性2人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の約0.1倍、昨年7月と同率であった。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月と同率、昨年7月の約0.5倍であった。(男性5人・女性1人)



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は22人(3.1)で、前月比129%と増加した。また、昨年7月(3.4)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数22人(3.1)で、前月の約1.3倍、昨年7月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	2023年7月		2023年6月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	2,140	36.9	1,982	34.2	★
新型コロナウイルス※1	5,131	88.5	1,735	29.9	▲
RSウイルス感染症	506	14.1	823	22.9	★
咽頭結膜熱	46	1.3	71	2.0	
溶レン菌咽頭炎※2	143	4.0	164	4.6	
感染性胃腸炎	681	18.9	1,213	33.7	
水痘	17	0.5	11	0.3	
手足口病	380	10.6	398	11.1	★
伝染性紅斑	3	0.1	1	0.0	
突発性発しん	63	1.8	130	3.6	
ヘルパンギーナ	522	14.5	1,550	43.1	★
流行性耳下腺炎	2	0.1	8	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	12	2.0	14	2.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
 ※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第24回 看護師が病院を選ぶ理由，去る理由



Q.

当院では、看護師不足が常態化しており新しい看護師を採用できたとしても、短期間の間に退職してしまうケースが多く、大変困っています。他の医療機関とも給与などの待遇面はほぼ同等であるにも関わらず、当院を離職した看護師が近隣の医療機関に就職しているケースも散見されます。今後、新しく雇用する看護師を定着させるために、どのようにすればよいですか？

A.



まず、都会・地方問わず看護師不足は常態化しており、派遣含めた看護師の確保は医療機関の喫緊の課題といえます。もっとも、看護師の離職率は各医療機関によって大きく異なります。では、短期間で離職が相次ぐ医療機関と長く定着してくれる医療機関との間には、どのような差があるのでしょうか。

21歳から29歳までの看護職（正・准看護師，保健師，助産師）500名に対して行ったアンケート結果によれば、回答者500人中369人（73.8%）の看護職が「辞めたいと思ったことがある」と回答しています。その理由のトップ3は、1位：「忙しすぎる」、2位：「上司への不満」、3位：「希望する休日がとれない」でした。看護職業務の激務さが大きな離職理由となっていることは周知のことである一方、「上司への不満」が2位となっている点は注目したい点です。また、「どうすれば離職を回避できたか？」という質問に対しても「管理者・上司の対応」という回答も多く見られ、職場内の人間関係に悩む・不満を持つ看護職は非常に多いのが実情です。

確かに、看護師の定着のために多様な勤務形態の導入や給与アップ，福利厚生充実などの就労環境の改善も効果的ですが、急に実現することは難しいでしょう。しかし、職場内におけるパワーハラスメント防止の徹底やコミュニケーションの重視は、比較的すぐに実行することができる対策といえます。少なくとも、「人間関係」を理由として離職する看護職員が実は数多く存在する事実は深く理解する必要があります。

ご相談いただいた医療機関でも、職場内の人間関係を含めたコミュニケーションに問題はないか、幅広く職員の意見を聴取し、少なくとも人間関係を理由とした離職を予防するための対策を行っていくことが肝要ではないかと思えます。

（回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂）

<医療機関での身近な疑問，質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp），FAX，郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

各郡市医師会だより

日向市東臼杵郡医師会

2025年を目途とした地域包括ケアの構築を間近に控え、当医師会におけるこの10年間の在宅医療多職種研修会を顧みた。

当医師会管内における初期の多職種研修会では在宅医療の可能性や体制構築についての総論的な観点からの講演や事例検討会、更にグループワークが開催された。その後各職種の実務紹介や実地訓練のほか、在宅患者の救急搬送の問題点や2次救急医療機関との前方、後方連携についての意見交換が数多くなされた。地域包括ケアの理念として主人公は在宅医療を受ける患者さんであり、患者さんの尊厳を大切にする以上ACP（Advance Care Planning）は避けることのできない問題である。専門家への講演ご依頼やご意見をお聞きしながら、事例検討会やシンポジウムが引き続き行われている。コロナ禍の3年あまりの間は感染防御の観点からWeb研修が主体となった。この間それぞれの施設で血のにじむような業務が続いたが、Web研修会を通してお互いに情報交換ができたことで孤独感や閉塞感から開放された方々も多かったのではないだろうか。コロナ禍を通して多職種間の連帯感が更に深まったように思われた。一人の患者さんの医療介護に多くの人に関わることで新たな気づきややり甲斐もたくさんあり研修会は毎回新鮮である。地域社会における包括ケアのあり方や合意形成はその時々々の社会情勢により姿や形が変化する可能性はあるが、継続的な研修会は今後も大切にしていきたい。

（千代反田 晋）

宮崎市郡医師会

令和5年6月28日、宮崎市郡医師会定時総会、医師連盟大会、共済会総会が開かれ、当医師会関連の本年度の事業方針、予算計画が示されました。中でも新型コロナウイルス感染症の対応は今年度も不可避の課題です。6月には沖縄、7月には九州、西日本を中心に第9波の感染拡大傾向を見せております。コロナ感染自宅療養者に対する健康観察体制も5月中旬で終了したため、現状に合わせた当医療圏でのコロナ感染者に対する外来・入院の受け入れ体制確保を行政とともに推し進めております。また、第8波までに経験した高齢者に対する在宅医療の問題整理、改善にも取り組んでおります。今後も限られた医療介護資源の中で、効率的に医療DXを活用して、施策を進めてまいります。

（内野 竜二）

都城市北諸県郡医師会

COVID-19も5月に5類に移行し、世間一般では急速に普段の生活を取り戻しておりますが、令和5年7月末現在、GWなどの連休、運動会やさまざまな大会の開催、夏祭りといろいろな行事が開催されるごとにCOVID-19は猛威を振るい始めております。それと同時に時期外れのインフルエンザやヘルパンギーナをはじめ、さまざまな感染症が次々と流行しマスクや行動様式による効果をあらためて感じております。在宅医療・介護分野は長引く感染対策により人材不足の加速が生じたため、事業継続が困難になってきており医師会としても対策が必要な問題と思われまます。

（隅 専浩）

延岡市医師会

7月23日に九州南部の、7月25日に九州北部の梅雨明けが発表されました。子どもたちも夏休みに入り、コロナ禍で失われた楽しい時間を取り戻して欲しいところではありますが、九州・沖縄地方でのコロナ感染が再燃しています。延岡市医師会では市内の80%の医療機関の協力を得て、5類移行後の新規コロナ感染者数を独自集計していますが、7月24日には200名を超える陽性を認めました。6月19日の週から6週間連続で実効再生産数が1を超える状態が続いています。今後も引き続き換気や手指消毒といった感染対策、重症化予防のワクチン接種をお願いいたします。

(岡村 樹里)

児湯医師会

令和5年度児湯医師会定時総会において、令和4年度児湯医師会各会計決算と令和5年度児湯医師会各会計予算の報告と協議がなされ会員からの承認をいただきました。事前に顧問税理士の先生に見てもらい、詳細で非常に適正な内容であるとの言葉もいただいています。当医師会事務方の頑張りにもよります。各事業内容がすべて順風でなくても今後大きな波風が立たない程度に過ごしていければと思います。

(山口 真太郎)

西都市西児湯医師会

昨年度、当医師会が西都市にお願ひし否決されていた物価高騰対策緊急支援金ですが、今年度は出していただける案内が7月に届きました。またコロナワクチン接種事業に関しても、追加の協力金を遡っていただける案内が7月に届きました(8月まで支給予定)。コロナ対応

で心身ともに疲弊している医療機関にとっては朗報です。7月から西都児湯医療センター勤務の医師が減っている現状があり、当医療圏の市町村の方々にご心配とご迷惑をかけていることを心苦しく思いますが、すべての医療機関がしっかり連携を取り救急・外来対応に尽力してまいりたいと思います。

(大塚 康二郎)

南那珂医師会

糖尿病性腎症重症化予防について、南那珂地区では令和元年8月に当医師会、日南歯科医師会、日南串間薬剤師会、日南市、串間市の5者で「糖尿病重症化予防に係る連携協定」を締結し、糖尿病発症予防と腎症重症化予防に取り組むことになりましたが、その後新型コロナウイルス感染症のため住民に対する行政の保健指導なども困難となっていました。今年5月同感染症が5類となり、保健指導も再開されるようになりました。今後あらためて糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進していきたいと思います。

(中津留 邦展)

西諸医師会

新型コロナウイルス感染症が5類への移行を受け、マスク着用義務もなくなり、巷では、コロナ前の生活に戻った場面もみられます。一方で、全国定点医療機関からの感染者報告数は増加傾向にあり、見えない第9波もうわさされています。今年こそ、以前の生活を取り戻したいと思う反面、我々医療従事者は、最新の情報に目を向け、気が抜けない状況です。地方における医師偏在、公的病院の存続、医師の働き方改革など多くの問題はありますが、1日でも早いコロナ終息を願う日々です。

(竹之内 剛)

国公立病院だより

串間市民病院



えとうしはる
江藤 敏治 院長

串間市について

串間市は、宮崎県の最南端に位置し、起伏に富んだ長い海岸線は国定公園日南海岸に属しており、石波の海岸樹林、北限とするソテツの自生地、野生馬で有名な都井岬、文化猿の幸島は天然

記念物に指定されています。総面積の294.95平方キロメートルの広大な市域では、栗より甘い「ことぶき甘藷」や「キンカンたまたま」「マンゴー」「せとか」「黒瀬ぶり」などの豊富な農産物・海産物を産出しています。都井地区の「恋ヶ浦」はサーフィンのメッカとして全国に知名度の高いところです。また串間温泉「いこいの里」は本当にとろとろの「美人の湯」で有名ですし、新たに開業した「くしま道の駅」の「寿司虎」は流石に“本店”だけあります。同じくこの夏にオープンした都井岬の「グランピング」は露天風呂が大変好評です。都井岬の野生馬、トビウオすくいに加え、満天の星空が皆さんをお待ちしています。



病院について

串間市民病院は、昭和21年10月「福島町農業会代行国民健康保険組合直営診療所」として開設されましたが、昭和29年の市制施行にともない名称を「串間市国民健康保険病院」に変え、昭和44年に鉄筋コンクリート3階建ての診療棟、昭和48年に病棟の改築を行いました。そして平成17年5月から串間市総合運動公園に隣

接する現在地において「串間市民病院」と名称を改め診療しております。許可病床数99床です。稼働病床は、一般病床45床、地域包括ケア病床45床で、令和5年6月1日から地域のニーズに合わせて地域包括ケア病床を31床から45床へ増やし、その分一般病床を減らしています。内科・外科・整形外科・産婦人科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻咽喉科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科を標榜し、常勤医師数10名です。令和4年度の1日の平均患者数は外来239.0人、入院71.6人でした。串間市は人口16,845人であり日南市まで40分、都城市まで1時間かかります。串間市の救急医療はほぼ全例当院が担っています。令和4年度の救急車受け入れは前年に比べ100台以上多い603台でした。大学病院の救命救急センターから毎週月曜日に応援をいただき、昨年度から元県立延岡病院救急医療部門長の矢野隆郎先生にご入職いただき全員で県南地区の地域救急医療を支えています。

新臨床研修制度が始まり、地方の病院では医師確保が困難となってきております。当院におきましても宮崎大学からの常勤派遣医師は泌尿器科と整形外科の各1名ずつの2名のみとなっていました。幸い、私の院長就任後、新規で内科医2名、訪問診療医1名、救急救命医1名、麻酔科医1名が就職してくれてなんとか串間の医療を支えてくれている現状です。せっかく病院だよりの機会を得ましたので当院の医師紹介と当院の特徴を述べたいと思います。

まず、当院の前院長で現在名誉院長の黒木和男先生は、県南地区はもとより志布志地区を始め広範囲の肝疾患の患者さんを精力的に診ておられます。副院長は2名います。一人は中西千尋先生です。第2内科出身で総合内科・消化器・消化器内視鏡・肝臓の専門医です。きめ細やかな医療を患者さんに提供し患者さんからとても好評です。もう一人は高屋剛先生です。専門は消化器外科で、外科・消化器専門医・がん治療認定医の資格を持ち、地域外科医療の要として頑張ってくれています。腹腔鏡手術を得意としています。

安心安全な手術を目指し、昨年度、元県立宮崎病院麻酔科部長の莫根正先生に麻酔科部長と

してご入職いただきました。健康診断もカバーしてもらっています。丁寧なお仕事をされスタッフからも大変好評です。なお大学病院から武野慎祐宮崎大学准教授に週1回サポートいただき手術にあたっています。また、前田資雄先生のご協力をいただき、今年度から、乳がん診療のみならず乳がん手術も開始しております。是非患者さんをご紹介ください。

令和3年度から加わったスタッフに星子新理内科部長がいます。第1内科消化器部門出身で、消化器・消化器内視鏡専門医です。とても丁寧で優しくわかりやすく患者さんにも接してくれ、技術も素晴らしく、当院のスタッフも彼に検査をしてもらうほどです。昨年度の上部内視鏡1,606件、下部内視鏡278件、そのうちEMR103件、ESD9件と年々検査並びに施術件数を伸ばしております。当院には治療内視鏡サポートとして宮崎善仁会病院から宮田義史先生と木村友明先生（ともに消化器内視鏡指導医）にご協力を仰ぎ安心安全かつ高度な治療内視鏡を提供できる体制を構築しています。ぜひ患者さんをご紹介ください。

地域医療の要に在宅医療があります。当院の在宅医療を担ってくれているのが令和2年度入職、第2内科出身の久保田哲代先生です。関東地区で在宅医療に長きにわたってご従事され、今回宮崎の医療を支えるために帰って来てくださいました。24時間訪問看護スタッフとともに串間地区の在宅医療を支えていただいております。また当院は透析部門もフル稼働しております。支えていただいているのが宮崎大学泌尿器科から入職された永田豊春先生です。週1回大学病院からも応援をいただいております。ぜひ患者さんのご紹介をお願いします。

整形外科は大学病院から河野勇泰喜先生に向いただいております。従来2名勤務でありましたが昨年7月から1名となり非常に忙しい厳しい状況となっております。高齢化のため患者さんの数も多く、他地域への足もないことから市民からの2名体制への要望も非常に強い状況です。安心安全な医療体制の構築をすべく粘り強く現状の理解を大学にお願いするしかない状況です。

最後に常勤医ではありませんが、公立病院として地域に必要な医療サポートとして大学病院

から耳鼻咽喉科（月曜日）、皮膚科・産婦人科（木曜日）の応援をいただいております。地域にしながら大学病院の診療を受けられるということで市民にも大変感謝いただいております。また産婦人科子宮がん検診を第2、第4水曜日午後田中茂樹先生にご協力いただいております。

最後に院長兼事業管理者としての抱負を付け加えさせていただきます。当院は新臨床研修制度以降の医師確保に苦しみ、12億円あまりの累積赤字となっております。「なんであえて火中の栗を拾うのか」と非常に心配されましたが、地元出身の江藤としてはなんとしても救急・在宅医療機能を維持しつつ串間市民病院の存続を図りたく当院への招聘を受けました。その後運営資金の不備などが判明し財政健全化を目指し職員給与カットを含めた厳しい計画を作成することを余儀なくされました。新型コロナウイルス感染症の流行と相まって厳しい状況となっておりますが、幸い上記のように志を一つにしたスタッフが集結してくれました。ベッド稼働率も60%台から80%台へ回復し、ようやく昨年度は単年度黒字となりました。スタッフの合言葉は「みんなの光となろう」です。それぞれが明るい未来を目指し、それぞれの夢や希望を叶えるための応援する組織となってきていると感じます。

当院は若手研修医を募集しております。宮崎大学、3県立病院の研修関連施設として日本内科学会・日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本肝臓学会・日本外科学会・日本整形外科学会・日本泌尿器科学会・日本病院総合診療医学会・日本プライマリケア医学会・日本救命救急医学会の認定、連携施設として登録されています。診療とともに若手育成に力を注ぐことが医療過疎地における持続発展可能な地域医療の姿なのではないかと考えています。当院には診療科間の垣根は全くございません。皆様のご子息で当院に興味をお持ちの方がおられましたらぜひお勧めください。責任を持って育てさせていただきます。最後にこれからも当院の基本理念としてかかげられている「やさしい医療」「高度な医療」「安全な医療」を念頭に、さらによい病院を目指してゆきたいと思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立で十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人
日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料	受給年金
●基本：月払 加算：月払	●81コース
加算年金 (10万円) 60,000円	加算年金 保証期間15年 64,600円 終身
基本年金 月払保険料 12,000円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
支払期間 19年 2ヶ月 (230期)	加算年金 5年確定型 276,500円
合計月払保険料 72,000円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
15年受取総額 13,950,000円	加算年金 10年確定型 143,400円
15年受取総額 276,500円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
15年受取総額 18,912,000円	加算年金 15年確定型 201,300円
15年受取総額 289,400円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
15年受取総額 19,530,000円	加算年金 15年確定型 201,300円
15年受取総額 156,300円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
15年受取総額 20,160,000円	加算年金 15年確定型 201,300円
15年受取総額 112,000円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
15年受取総額 20,160,000円	

設定条件をご確認ください。

試算日 令和2年9月10日
生年月日 昭和50年1月1日
試算日年齢 45歳

加入申込期間 令和2年10月15日
加入予定年月 令和2年11月
加入時年齢 45歳10ヵ月

加算払込開始年月 令和2年11月

年金受取開始年月 令和22年1月
年金受取開始年齢 65歳

払込保険料累計 16,560,000円

注意事項です。お読みください。

- 加入申込期間は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- 「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることができます。
- 「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- 「受取コースの選択(国・県)」は、受取開始の時に選択する必要があります。
- 受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- 「受取年金月額」は概算です。現在は年利率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(耳鼻咽喉科医会)

つばい やすひろ
坪井 康浩 会長

令和5年4月から宮崎県耳鼻咽喉科医会会長に就任いたしました坪井康浩です。これまで井手稔先生が12年の長きにわたり耳鼻咽喉科医会をけん引されてこられました。それを引き継ぎました。若輩ではござ

いますが、どうぞよろしくお願いたします。医会の役員・理事も変更があり、副会長は松田圭二、会計・庶務は福留真二、理事には春田厚、柗山幹子、堀之内謙一、中島崇博、竹尾輝久、菊池景子、長井慎成、木谷真理、森園健介が就任しました。顧問は井手稔、監事に松浦宏司が就任しています（敬称略）。

耳鼻咽喉科医会の会員数は、令和5年7月時点でA会員35名、B会員14名、合計49名です。2年前と比較しますと、2名のA会員が廃業し、B会員になりました。

耳鼻咽喉科医会において最近2年間の大きな変化といえば、令和4年10月付で新潟大学から高橋邦行先生が教授に就任されたことです。初代教授の森満保教授以降、2代目の小宗静男教授、3代目東野哲也教授ともに、宮崎大学耳鼻咽喉科学教室に在籍した先生方でした。4代目の教授が学外から赴任されることになり多少なりとも緊張感が漂いましたが、高橋先生は、宮崎の伝統である耳科手術を専門とされ、まためまいに対しても造詣が深く、若い教室員たちとともに教室を盛り上げていこうという気概にあふれた教授で、耳鼻咽喉科医会としても心からエールを送る次第です。

来年（令和6年）の耳鼻咽喉科医会のトピックスとしては全国学校保健・学校医大会で、耳鼻咽喉科セッションを担当することです。耳鼻

咽喉科の学校保健委員長、竹尾輝久先生を中心に準備を始め、少しでも宮崎大会の成功に協力したいと考えています。これまで当医会は長年学校検診に協力してまいりましたが、一部地域では学校医の不足により、全員検診が難しくなっています。大学病院の医師にも協力を仰ぎながら検診体制を維持し、なんとか子供たちの成長をサポートしていきたいと考えています。

医会の市民向け活動としては、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と共催で「耳の日講演会、相談会」を行っています。耳の日は昭和31年に制定され、難聴と言語障害を持つ人々の悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから始められたものです。毎年市民向けの講演を行い、補聴器相談はもちろん、他の耳鼻咽喉科疾患に対しても相談会を行っています。コロナ禍前の2019年は長井慎成先生（宮崎市）が「声の話」、コロナ明けとなった2023年は中島崇博先生（都城）が「聞こえのトラブル」で講演をされています。

一方耳鼻咽喉科疾患で最近注目されているのは、ヘッドホン・イヤホン難聴です。最近では以前にも増してヘッドホンを長時間使用する若者が増え、WHOの試算では難聴のリスクがある人は世界で11億人に達するといわれています。耳鼻咽喉科学会が中心になりワーキンググループを立ち上げ、ヘッドホン・イヤホン難聴のアンケート調査や基礎研究を行っています。現時点での推奨は、80dB（子供は75dB）以下の音量で、連続使用は1時間未満。1時間使用すれば10分休憩が必要です。広く一般の方々へ警鐘を鳴らす必要があると考えています。

最後に宮崎県医師会の先生方には、耳鼻咽喉科医会に対するご支援、ご協力、ご指導を今後ともよろしくお願いいたします。

旅行記

81歳四苦八苦の四国遍路 その2

宮崎市 ^{たか}高 ^{さき}崎 ^ま真 ^{ゆみ}弓

不要品を送り返してザックを軽くする

徳島市を過ぎると、次の難所は20番鶴林寺と21番太龍寺だ。それぞれ標高500mの山の上にある。山は別々で一度川まで下って登り返すのだ。その後、多くの人は22番札所まで歩くのだが、背筋痛が不安で少し手前に宿をとった。

この先、23番薬王寺から室戸岬の24番最御崎寺まで75kmもある。普通は3日で行くが、慌てることはない、4日で行こうと腹を決めた。歩行距離を1日20~25kmにして、ザック内の使ったことのない物を、宿の売店で購入した大袋の鯉節と一緒に自宅へ送り返した。これでザックは1~2kg軽くなっただろう。

ガイド本解説編によると、背荷物の重量は男性で5kgが限度、4kgが理想的と書いてある。ほかに肩から下げる頭陀袋が2kg近くになる。

遍路なら牧野植物園は無料

室戸岬から高知市を經由して足摺岬への道は長い。幸い途中でいろいろ見物したいところがある。

牧野富太郎の植物園は、31番竹林寺とつながっていて、お遍路さんは裏口からいつでも入れるようになっていて。前日近くに宿をとって、翌日の午前中いっぱいを見学に当たった。だいぶ以前だが、朝井まかて著の『ボタニカ』を読んで感激したので、特に彼の植物写生に興味があり、じっくり見学した。

高知市に入る前の赤岡町には「絵金蔵」ミュ

ージアムがある。以前、『大塚薬報』で絵金蔵こと広瀬金蔵が描いた鮮烈な色彩でエロチックな屏風絵を見て、一度観賞してみたいと思っていた。幸いへんろ道沿いにあり、解説人付きで十分楽しんだ。

同じくへんろ道沿いに「手結可動橋」というのがある。手結は町の名。船が通るとき、道路にかかっている橋の片方が外れて直角になるまで上がって船を通す。近くを通りかかったら、橋が空に向かって立っているではないか。橋が降りて車が通るようになるまで橋のたもとで見物した。

更に四万十市では、少し遠回りをして市内へ入り、帆掛舟で四万十の風を満喫した。

かつお

鯉のたたきに飽きる

民宿、旅館、ビジネスホテル、ときにはシティホテルにも泊まったが、できるだけ食事付きを頼んだ。旅館でも食事を出さないところもあるし、朝食だけのところもある。

料理はいろいろだ。ただ高知県では、夕食に必ず鯉のたたきが出る。通常の刺身の大きさのときもあれば、どどかい切身のときもある。昔はんにくがたっぷり盛られていたが、今はわずかだ。うまくて喜んで食べていたが、さすがに飽きた。

今春は、国が旅行支援を行っていたので、ホテルや旅館、それに一部の民宿で、料金は2割引だ。かつ平日は2千円のクーポンをくれる。

ところが、クーポンを使える店が限られている。確実に使えるところは、スーパーマーケットとドラッグストア。これを利用して、ビール、つまみ、総菜などを購入していた。

道迷い対策

デンマークから来た若者2人、仕事を2か月休んで遍路に来たという。よく道を間違えずにすたすた歩いていると感心する。彼らは携帯電話のアプリを使っている。

私を含めて日本の高齢者は、遍路地図を持って歩いている。外国人はこれの英語版を持っている。中には地図を携帯電話で写真に撮って拡大して見ている人もいる。

歩いているときは、へんろシール、吊り下げ遍路札、遍路石を見落とさないように、キョロキョロしながら歩いているが、それでも標識を見落として道に迷う。

車道のない山道には、道標として「丁石」が置いてある。これは船型の石仏で、江戸時代後期に1丁(109m)おきに立てらたとされている。

迷ったとき、携帯電話にコンパスがあるが、自分のいる現在地がわからないと使えない。バス道路なら、バス停で現在地がわかるが、バス停のないところも多い。人を探して聞くが、誰に聞いてもわかるわけではない。わかりやすく教えてくれるのは、リタイア直後とおぼしき男性だ。

Google Mapsをオンにして歩けばいいじゃないかと思うだろうが、電池の消耗が激しいので充電器が荷物になる。

遍路は船も利用する

室戸岬から高知市へ向かう途中は、太平洋を眺めながら防波堤の上を歩くことが多い。ときには阿波岐原のような黒松林の中の道もある。

海辺の民宿なら朝5時過ぎに海から昇る太陽を眺めることができる。足摺岬を過ぎた後、海に沈む太陽を見たいと、崖の上のホテルを予約したが、あいにくの雨だった。

高知市には、浦戸湾を渡る県営の無料フェリ

ーがある。お遍路さんの大半はこれを利用して34番種間寺へ向かう。また、36番青龍寺から37番岩本寺へ向かうとき、浦ノ内湾で約1時間の巡航船を利用できる。

濡れた靴をどうやって乾かすか

ガイド本解説編に、携行用品一覧表が掲げられているが、そこにドライヤーが必需品とある。旅館や民宿の風呂や洗面所に大方ドライヤーが置いてあるのに、何に使うのだろう。雨に濡れた靴を乾かすためだろうか。

世界一美しい散歩道といわれるニュージーランドのミルフォード・トラックを歩いたことがある。このトラックでは携帯電話はつながらない。でも途中のハット(小屋)ではお湯の出るシャワーを使えるし、ビールも飲めるし、食事もある。

雨に濡れたザックや靴は、乾燥室へ入れて置くと数時間で乾く。日本の遍路宿では靴に新聞紙を詰める以外に手が無い。翌朝も靴は湿っている。宿によってはドライヤーのような靴乾燥機があるが、あまり有効でない。

(つづく)



遍路石と遍路札

九州医師会連合会第408回常任委員会

と き 令和5年7月8日(土)

ところ 出島メッセ長崎

1 開 会

2 開催県医師会長（長崎県森崎会長）

3 報 告

1) 山梨県医師会長・手塚司朗先生のご逝去に伴う弔意について（大分）

大分県が遅参のため、長崎県から弔電で弔意を表した旨の報告が行われた。

2) 令和5年度九州医師会連合会行事予定について（長崎）

長崎県から令和5年7月～翌年6月までの行事予定の報告が行われた。

4 協 議

1) 九州医師会連合会会長・同副会長の互選について（長崎）

任期：令和5年7月1日～令和6年6月30日

九医連会長に長崎県森崎会長，副会長に熊本県福田会長が選出された。

2) 九州医師会連合会監事の選定について（長崎）

任期：令和5年7月1日～令和6年6月30日

佐賀県と熊本県から推薦することが承認された。

3) 第1回各種協議会（10月14日(土)長崎市）の開催種目について（長崎）

事前に照会した九州各県医師会の回答等をふまえ地域医療，医療保険，介護保険の3つの協議会を開催することおよび午後2時から「勤務医担当理事連絡協議会」を開催することが承認された。

4) 九州医師会連合会並びに九州医師会医学会の『医学部卒後5年間』の会費減免（無

料化）について（長崎）

年2,000円の会費を，医学部卒後5年間は減免することが承認された。

5 その他

1) 日本医師会における最近の話題の情報提供について（鹿児島）

鹿児島県池田会長からの提案に対し，日医理事の長崎県森崎会長が，日医役員会の概要などを説明した。

2) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業並びに，診療報酬上の臨時的な取扱いの継続に関する要望書の提出について（鹿児島）

10月以降も新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業を継続すること，診療報酬上の臨時的な取扱いを維持・継続すること，国民に対し新型コロナウイルスワクチン接種を積極的に勧奨することなどを要望することが承認された。

3) 令和6年度九州医師会連合会行事予定について（熊本）

熊本県から，令和6年7月～7年6月までの行事予定が提出され，最初の会議（7月の九医連常任委員会）などについて意見確認が行われた。

6 閉 会

出席者－河野会長，竹崎事務局長

九州医連連絡会第33回常任執行委員会

と き 令和5年7月8日(土)

ところ 出島メッセ長崎

1 開 会

2 挨拶

1) 開催県医師連盟委員長

(長崎県森崎委員長)

3 協 議

1) 九州医連連絡会委員長・同副委員長について(長崎)

任期:令和5年7月1日~令和6年6月30日

九州医連連絡会の委員長に長崎県森崎委員長, 副委員長に熊本県福田委員長が選出された。

2) 九州医連連絡会第24回執行委員会の開催について(長崎)

8月26日(土)長崎市で九医連の定例委員総会が開催されるのに合わせ, 執行委員会を開催することが承認された。

4 その他

5 閉 会

出席者-河野委員長, 竹崎事務局長

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流(会員交流用)」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的: 県医師会から会員への情報提供(各種通知文書, 研修会の案内など)

対象: 会員本人, 医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的: 会員同士の意見交換, 会員からの情報提供

対象: 会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し, 事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合, 情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先: 宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

第1回各郡市医師会長協議会 羽生田たかし参議院議員国政報告会 (各郡市医師連盟委員長会)

と き 令和5年7月25日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

1 開 会

市来常任理事の司会により開会し、報告・協議に入った。

対して、引き続き市町村担当者と粘り強い協議をしていただくよう要請があった。

3) 各医療圏における問題点について

(延岡市医師会)

2 報告および協議

1) 7/18(火)都道府県医師会長会議について

河野会長から、今回の会議のテーマは「医薬品を巡る諸課題（医薬品の安定供給、高額医薬品、公定薬価制度）」で、8つの県医師会によるグループ討議と日医執行部へ質問などが行われ、現在の諸問題は、製薬会社の倫理、毎年の薬価改定、拙速な後発医薬品の推進等が複雑に絡み合っており、体質改善を含め「供給」が正常化するには、後3年はかかるとの説明があったことなどの報告が行われた。

2) 医療機関等に対する物価高騰対策支援について

赤須常任理事から、国の交付金で県と市町村が別々に予算化できる「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」について、県では9月以降に2回目の支援を予定していることが報告された。また市町村においては、実施されている市町村もあるが、人口の多いところで実施されていないため過半数の医療機関で支援が行き届いていない状況が報告され、各郡市医師会に

佐藤会長から、地域医療構想について、延岡西白杵地区では閉鎖している病棟があるため、全体では病床があまっているかのように見えるが、亜急性期や回復期の病床は非常に不足している。この地域で唯一の、看護基準7：1で地域医療支援病院を取得している県立延岡病院の機能を維持するためには、亜急性期、回復期病院が欠かせないが、現存する亜急性期や回復期の医療機関は常日頃より満床に近い状態が続いており、病床の増加が必要となっている現状が報告された。また、紹介重点医療機関について、二次医療圏での医療を完結させるためには、多少基準を満たさなくても紹介重点医療機関の役割を担わせるべきではないかと問題提起があった。

金丸常任理事から、亜急性期、回復期病床不足の問題については、地域医療構想調整会議において、休棟などの事情を踏まえて協議していただきたい。また、紹介重点医療機関については、基準を下回っていても地域の事情に応じ対応する整理がなされているので、同様に地域において協

議していただきたい、等の説明があった。

4) 医師の働き方改革について (お願い)

(都城市北諸県郡医師会)

田口会長から、医師会病院夜間急病センターでは救急対応があるため大学からの派遣医師については、宿日直許可を取るのではなく当直の派遣をお願いしたいという要望があった。帖佐会長(宮大附属病院長)から、例えば、可能であれば、23時までは通常勤務、そして23時から翌朝までは宿日直許可を取るなどの組み合わせで対応していただけると各診療科で対応しやすくなると述べられた。

池井常任理事から、救急の場合は、大学の派遣医師が宿日直を行い、当該医療機関の医師が待機時間をカバーする形で対応するなどの工夫が必要な部分も出てくる。医療勤務環境改善支援センターでは、全国の状況などを把握している社労士のアドバイザーが対応するのでぜひ相談していただきたい、等の説明があった。

3 国政報告会

厚生労働副大臣・参議院議員

羽生田たかし 先生

少子化と人口減少について、2040年には日本の生産者人口は今よりも1,500万人減少し、65歳以上の高齢者は300万人増加する状況が説明され、またそれともなう税収の減少や社会保障費への影響について説明があった。少子化は医療や介護などの社会保障だけの問題ではなく経済も含め大変大きな問題であることを強く述べられた。働き方改革については、日本医師会が医療機関勤務環境評価センターとして、昨年4月に厚労省から指定を受

け、労働時間の短縮のための取組み状況などの評価を行うこととなっているが、審査を依頼する医療機関が少ない状況である。また、地域においては、医療勤務環境改善支援センターが全国に設置され、医師会や県が運営しているところであるが、医師会が中心となって医療機関が労働時間の短縮にスムーズに取り組めるようにしっかりと相談にのり、対応することがその役目であると述べられた。

出席者

各郡市医師会長

高村(宮崎)・田口(都城)・佐藤(延岡)・千代反田(日向)・永友(児湯)・松本(西都)・中村(南那珂)・植松(西臼杵)・帖佐(宮大医)会長、園田副会長(西諸)

県医師会など

河野会長、山村・小牧副会長、荒木・市来・吉田・金丸・池井・石川・高木・嶋本・赤須・大塚・吉見常任理事、峰松・佐々木・玉置・田畑・落合・山中・河原・吉村理事、中山理事(医協)

事務局

竹崎局長、園山次長、久永・松本・牧野・野尻課長、湯浅課長補佐、桑山主事、杉田医師国保組合事務長、小川医師協同組合事務長、大野・鳥井元課長、
與参与

日医インターネットニュースから

■ワクチン健康被害、4000人以上審議待ち — 委員増で対応 —

新型コロナワクチン接種後の健康被害救済が遅れている問題を受け、厚生労働省は6月以降、救済の可否を判断する委員をさらに増やし、審議件数の増加を図っている。6月の審議件数は、前年同月の5倍近くまで増えた。ただ、それでもまだ4,000人以上が「審議待ち」の状態になっており、問題の解消には時間がかかる見込みだ。

予防接種健康被害救済制度では、市町村を通じて申請された健康被害について、迅速かつ幅広く救済を行う、としている。「接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない」と認定された場合は、補償の対象となり、死亡時には葬祭料や死亡一時金を支払う。

●審査部会、「第3」まで拡大

認定を巡って、審議するのは「感染症・予防接種審査分科会」。コロナワクチン関連の申請が急増したことを受け、2021年9月からは、分科会の下に「新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会」を設け、並行して審議してきた。しかし、申請数があまりに多く、22年末時点では、受理件数約5,600件のうち、保留も含めた審議件数は約1,800件にとどまった。

厚生労働省は今年1月以降、審議を担当する委員を増員。審査部会も「第1」「第2」と2つに増やし、分科会も含めて、月3回程度の審議を手がけてきた。それでも、未処理件数はなかなか減らず、5月末時点では約7,800件のうち、約4,800件を審査できていない状態だった。

6月からは、委員をさらに増員。審査部会も「第3」まで増やした。これについて、厚生労働省は「審議の迅速化を課題とする中での対応」と説明。当面は、分科会を含めて、月4回程度の審査機会を設ける予定だ。

月4回となった6月、コロナワクチンに関する審議件数は合計608件だった。審査部会2回のみだった前年6月の審議件数は128件で、単純比較すれば5倍近くに増えたことになる。

●さらなる人員増は先行き未定

釜范敏常任理事は7月26日の会見で、「申請を出した人の審査が遅れているのではないかという指摘がある」と、この問題に触れた。厚生労働省が迅速化を試みていることに理解を示しつつも、「さらに努力が必要だろう」と改善を求めた。

27日時点では、受理数約8,100件のうち、保留も含めた処理済みは約3,900件で、相変わらず4,000件以上が未処理の状態にある。

厚生労働省は審査する委員について、6月に増やしたばかりでもあり、さらなる増員は「現段階では、あるともないとも言えない状況」だとしている。
(令和5年8月1日)

■コロナ対応、10月以降も財政支援を — 日医、厚生労働省に要望 —

日本医師会は、10月以降の新型コロナ対策について、財政支援を求める要望書を加藤勝信厚生労働相に提出した。

コロナの類型変更後も「医療機関では引き続き感染対策をはじめ、さまざまな対応を講じる必要がある」と説明。診療報酬上の措置や病床確保料の継続、高額な治療薬の自己負担が生じないための財政支援などの必要性を訴えている。

要望書は先月31日に提出。釜范敏常任理事は8月2日の会見で、コロナ治療薬への公費支援が9月末まで続くことを踏まえ、「10月以降、急に自己負担が高額になって治療にたどり着かないようなことにならないような配慮を、特に強調して求めた」とした。

さらに病床確保について、看護師の勤務計画が立てられるように、早期に方針を示すよう要請した。加藤厚生労働相は「要望を踏まえて、適切な時期に方針が決まるようにしたい」と応じたという。

釜范常任理事は、秋以降のコロナワクチン接種にも言及した。「全国民に対し、希望する人には接種することが可能な状況を、この秋冬に確保するという国の方針は心強い。全年齢へのワクチンの効果に対する信頼性は揺るぎないものがある」と話した。

その上で、来年度以降、接種に要する自己負担が生じれば、「接種する意欲がなえてしまう」と懸念。負担が増えない形で接種を続ける方策を検討すべきだとの見解を示した。

(令和5年8月4日)

■コロナ定点報告数、佐賀は31.79に増加 — 7月24~30日 —

厚生労働省は4日、2023年第30週（7月24~30日）の新型コロナウイルス感染症の発生状況を公表した。全国の定点当たり報告数は15.91となり、前週（13.91）から増加した。報告数の総数も7万8502人に増えた。都道府県別に見ると、佐賀が前週に引き続き最多で、31.79。長崎も30.29となり、前週（22.94）から大幅に増加した。一方、沖縄の定点当たり報告数は、17.59まで減少した。

このほか、宮崎（27.21）、鳥取（25.52）、熊本（24.66）、大分（24.33）、石川（24.13）なども前週から増加し、高い値を示している。

●新規入院者数、1万人超える

医療機関等情報支援システム（G-MIS）に基づく新規入院患者数（速報値）は、1万1146人となった。特定集中治療室管理料、救命救急入院料を算定するICU入院中の患者数（7日間平均）は158人、ECMOまたは人工呼吸器管理中の患者数（同）は80人だった。

(令和5年8月8日)

■コロナ秋接種、公的関与高リスク者のみ — 厚労省分科会 —

厚生労働省の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（会長＝脇田隆字・国立感染症研究所長）は8月9日、今秋開始の新型コロナウイルスワクチン接種について、全ての人に接種機

会を提供する中で、高齢者など重症化リスクの高い人を公的関与の規定に基づく接種対象者とする方針を決めた。使用ワクチンはXBB.1.5対応1価ワクチンを基本とし、9月20日からの開始を見込む。

WHOは現在、コロナワクチン接種について、定期接種において高齢者には追加接種を推奨するが、健康な乳幼児、小児、成人等への追加接種は推奨していない。それを踏まえ、国内においても重症者を減らすことを目的として、秋開始の接種は高齢者など重症化リスクが高い人を対象者とする。それ以外の人に対しても接種機会は提供するが、被接種者・保護者に対する努力義務や市町村に対する接種勧奨義務といった公的関与の対象にはしない。

厚労省が提示した方針案に対して、委員からは「公的関与の対象にならないことで接種が受けられない、接種する必要がない、という誤解を生じさせないように、しっかり周知すべき」という指摘が複数あったものの、特に異論はなかった。周知に関して、厚労省はリーフレットなどを作成して対応すると応じた。

●XBB対応ワクチンを使用

また、秋以降の接種では、流行株の状況などを鑑みてXBB.1.5対応の1価ワクチンを基本的に使用することとした。開始時期は9月20日を予定し、準備を進める。現在、ファイザーとモデルナのXBB.1.5対応1価ワクチンが承認申請されており、今後、薬事承認や同分科会への諮問を経て、特例臨時接種に位置付けられる。

2024年度以降のコロナワクチン接種については今後、予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会で▽感染症の疫学的状況▽安全性・有効性▽費用対効果—などを議論して意見を取りまとめ、同分科会に報告。今年中には方針を決める。

(令和5年8月11日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより



産業廃棄物処理・優良認定企業



医療廃棄物の収集処理

適正処理をモットーに31年間の実績を誇る!

事業のご案内

① 医療廃棄物の処理と関連用品の販売

感染性廃棄物 ● 注射針 ● 注射器 ● ガーゼ ● 血液 等

非感染性廃棄物 ● プラスチック ● フィルム ● 薬ビン ● 廃薬品 等

② カルテ・重要書類・書籍等の処理

● 個人情報書類 ● カルテ 等 ● レントゲンフィルム買取・処分

③ 医療機器・事務機器・家電リサイクルの処理

④ レントゲン廃液・レントゲンフィルムの処理

⑤ 廃薬品(薬品全般・劇薬・毒物・危険物)の処理

⑥ 蛍光灯・乾電池・水銀使用製品の処理

安全でクリーンな環境づくりに奉仕する

株式会社 宮崎県医師サービスセンター



エコアクション21
認証・登録番号0010523

本 社 〒880-0125 宮崎市大字広原4511-7
TEL.0985-30-5355 FAX.0985-30-5350
延岡営業所 〒889-0511 延岡市松原町3丁目8928番3
TEL.0982-37-8080 FAX.0982-20-2040
URL:<http://miyazaki-isc.co.jp/>

お見積無料!!
お気軽にご相談ください。
電話一本でお伺いします。



ビジネスに、価値ある安心を。
宮崎県医師会会員の皆様に特別なご優待をご用意。



■対象車種：BMW 新車全モデル ※一部対象外

※新型モデル対象外、その他 BEV 車両は 6%OFF となります。

■対象：宮崎県医師会会員様名義車両、

及び、医療法人名義車両、院名名義車両に限りです。

**新車購入サポート
車両価格より 8%OFF**

SPECIAL OFFER
8%OFF
約 67 万円 OFF



X3 xDrive 20d M Sport
¥ 8,400,000 ▶ ¥ 7,728,000

SPECIAL OFFER
8%OFF
約 57 万円 OFF



320d xDrive M Sport
¥ 7,200,000 ▶ ¥ 6,624,000

SPECIAL OFFER
8%OFF
約 96 万円 OFF



X5 xDrive 40d M Sport
¥ 11,990,000 ▶ ¥ 11,030,800

SPECIAL OFFER
8%OFF
約 60 万円 OFF



420d xDrive GC M Sport
¥ 7,600,000 ▶ ¥ 6,992,000

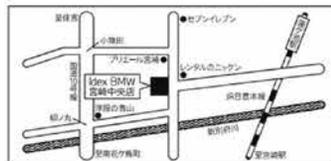
※表示の価格は、税金（消費税を除く）・保険料・登録の諸費用・リサイクル料金・付属品価格を含まないメーカー希望小売価格（消費税込）です。
※販売価格は BMW 正規ディーラーで各自定めておりますのでお問い合わせください。 ※1 サポート内容は、新車モデルの車両本体価格より 8%の購入サポートです。
※車両価格は 2023 年 7 月 1 日現在の価格にります。 一部新型モデル対象外、その他 BEV 車両（電気自動車）は 6%OFF となります。

正規ディーラー IDEX BMW 宮崎中央店

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町柳ノ丸 510

TEL0985-34-9366

定休日：毎週水曜日（水曜日が祝日の場合翌木曜日）



- ・新車販売
- ・認定中古車販売
- ・アフターサービス

医師国保組合だより

令和5年度 宮崎県医師国民健康保険組合 第129回通常組合会

と き 令和5年7月21日(金)

ところ 県 医 師 会 館

議長の前田雄一先生からの開会宣言があり、物故組合員5名の先生方に対し、出席者全員で弔意黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶後、議事に入った。令和4年度事業報告および歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分についての審議を行い、すべて原案のとおり可決承認された。

1 理事長挨拶

令和4年度歳入歳出決算は、11年ぶりに単年度黒字を計上させていただいた。その最大の要因は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、歳出の割合を大きく占める保険給付費の減少が挙げられる。ただ診療報酬も減少しており、組合員の医療機関収入の現状を鑑みると決して手放しでは喜べない。本日は、令和4年度事業報告および収支決算状況等についてのご審議をお願い申し上げます。

2 議事の状況

1) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の行政検査の公費負担分に係る自家診療給付申請の取り扱いについて

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置づけが、5月8日から5類に変更されたことにより、行政検査の公費負担取り扱いは終了した。当組合において承認されていた、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の行政検査の公費

負担分に係る自家診療給付申請の取り扱い」についても、5月7日診療のレセプト請求分をもって終了となった。また、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給申請も同日まで分の申請で終了したことを報告した。国からは公費負担取り扱いの再延長通知はないものの、変異株による感染拡大、新たなウイルス出現によるパンデミックも否定出来ないことから、規約の一部改正および保険給付規程の改正は行わずに対応することを報告した。

2) 令和4年度事業報告について

「被保険者数の推移」について、令和4年度の組合員数は560名で過去10年間の組合員数を見てもさほど変動はない。一方、家族の被保険者数は834名で、10年前と比較すると313名減少している。全体の被保険者数は1,394名で、10年前とでは339名減少していることから、被保険者数の大半は家族数が減少していることになる。健康保険の適用除外承認を受けて加入した特定被保険者数は、610名で年々増加している。歳入の国庫支出金の基礎となる定率国庫補助率は、従来の被保険者分と特定被保険者分では、その料率に差が生じている。以前は歳入の20%程度を国庫支出金が占めていたが、所得の高い被保険者と見なされる

医師国保組合への補助率削減、また補助率が低い特定被保険者が増加することにより、令和4年度では歳入に占める割合が8%まで減少した。75歳を迎えられたことによる後期高齢者医療制度への移行によって資格喪失が増え、組合員数の減少は避けられない。各郡市医師会の協力を得て、廉価な保険料で、人生100年時代を見据えた保険事業の提供を受けられる当組合のメリットを説明し、新規の医師会入会会員に対する組合への加入アプローチに努める。

「保険給付に関する事項」について、療養諸費の保険者負担額は増加傾向で推移していた。令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関への受診控えもあり、療養諸費の保険者負担額は減少し続けている。令和4年度の同負担額は前年度より847万余円の減で1億9,440万余円になった。さまざまな要因が重なり、入院診療費も療養諸費に比例するように前年度比19.4%の減少に転じている。

「保険事業に関する事項」について、健康診断受診率は、前年度比1.09%減の46.74%で、そのうち特定健診受診率は41.53%で前年度の受診率をわずかに上回った。受診率が向上することにより保険給付の抑制にもつながることから、宮崎市郡医師会病院健診センターの協力のもと、日曜日健診（がん検診オプション含む）を実施していただいた。特定保健指導の対象者22名には、無料の受診券を発行し、利用を促したが、実績0名の結果になった。

新たに未就学児に係る子育て世帯への経済的負担の軽減措置として、11月30日時点

に組合加入している未就学児の世帯に対して、納付済の保険料からその人数に応じ一人あたり12,000円を返還する事業を実施した。

以上、令和4年度の主な事業報告について説明し、可決承認された。

3) 令和4年度歳入歳出決算について

令和4年度は歳入合計5億3,173万余円、歳出合計4億3,212万余円、収支差し引き残額9,961万余円、単年度収支額は533万余円の黒字決算を計上した。当組合として11年ぶりの黒字決算となった。

歳入は、医師会の退会や後期高齢者医療制度への移行による資格喪失により被保険者数が想定よりも減少し、14年ぶりに医療給付費分保険料の引き上げを行ったものの、当初の増収見込み額を下回った。国庫補助金は238万余円の減、前期高齢者交付金は、当組合の前期高齢者加入率が全保険者の平均加入率を上回ったことから、前年度比1,164万余円の増になった。

歳出は、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響と思われる受診控えと入院診療費がコロナ禍前からすると半減したことから、保険給付費は前年度比1,512万余円の減になった。

後期高齢者支援金分保険料並びに介護納付金分保険料は、国への高齢者拠出金に不足が生じた場合のみ、組合会の了承を得て保険料を改定させていただいている。諸支出の縮減に努めても、歯止めのかからない被保険者数減に伴う保険料の収入減、高額薬剤等の出現や高齢者医療制度への拠出金負担額増により、次年度以降も保険料の改

定が必要となることを説明し、当組合財政運営への理解と協力を求めたうえで、可決承認された。

4) 令和4年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている「特別積立金」並びに「給付費支払準備積立金」は法定額を超えているため、歳入歳出差引額9,961万余円の全額を令和5年度会計への繰越金とすることが可決承認された。

3 理事長謝辞

本日の組合会議案について、粛々にご審議いただき感謝申し上げます。直近の新型コロナウイルス感染症の発生状況において都道府県別報告数の最も多かったのは沖縄県、以下鹿児島県、本県が続きワースト3になっている。引き続き基本的な感染防止策の徹底が必要と考える。暑い日も続いている。組合員の先生方におかれましてはどうぞご自愛いただきたい。

出席組合会議員（議員定数30名 出席議員17名）

議席番号	氏名	議席番号	氏名
2番	内田 攻	13番	弘野 修一
3番	内野 竜二	14番	早稲田 真
4番	岡留 敏秀	15番	野邊 俊文
5番	菊池 安剛	16番	大岐 照彦
6番	木佐貫 博人	22番	竹中 美香
8番	神尊 敏彦	24番	永友 淳司
9番	佐藤 潤一郎	25番	川西 昭人
11番	谷口 二郎	28番	石澤 宗純
12番	原田 雄一		

出席理事 9名

理事長	秦 喜八郎
副理事長	大坪 睦郎
副理事長	山村 善教
常務理事	佐々木 究
理事	高木 純一
理事	玉置 昇
理事	上山 貴子
理事	北村 洋
理事	河原 勝博

出席監事 2名

監事	棚田 敏文
監事	山路 健

令和4年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

歳 入 合 計	531,738,246円
歳 出 合 計	432,122,702円
歳入歳出差引残額	99,615,544円
(令和3年度繰越金)	94,276,111円)
(積立金繰入金)	0円)
(令和4年度単年度収支)	5,339,433円)

(歳 入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険料	1 国民健康保険料	371,884,000	366,532,100	366,532,100	0	0	△ 5,351,900
2 一部負担金	1 一部負担金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
3 国庫支出金		45,328,000	42,466,262	42,466,262	0	0	△ 2,861,738
	1 国庫負担金	1,508,000	1,773,265	1,773,265	0	0	265,265
	2 国庫補助金	43,820,000	40,692,997	40,692,997	0	0	△ 3,127,003
4 前期高齢者交付金	1 前期高齢者交付金	13,060,000	13,742,170	13,742,170	0	0	682,170
5 県支出金	1 県補助金	2,000	0	0	0	0	△ 2,000
6 共同事業交付金	1 共同事業交付金	23,532,000	3,573,000	3,573,000	0	0	△ 19,959,000
7 財産収入	1 財産運用収入	170,000	166,844	166,844	0	0	△ 3,156
8 繰入金	1 繰入金	5,000	0	0	0	0	△ 5,000
9 繰越金	1 繰越金	89,515,000	94,276,111	94,276,111	0	0	4,761,111
10 諸収入		10,954,000	10,981,759	10,981,759	0	0	27,759
	1 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
	2 預金利子	4,000	800	800	0	0	△ 3,200
	3 雑収入	10,949,000	10,980,959	10,980,959	0	0	31,959
歳入合計		554,451,000	531,738,246	531,738,246	0	0	△22,712,754

(歳 出)

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 組合会費	1 組合会費	4,955,000	4,348,217	0	606,783	606,783
2 総務費	1 総務管理費	50,490,000	41,059,318	0	9,430,682	9,430,682
3 保険給付費		239,178,000	206,982,958	0	32,195,042	32,195,042
	1 療養諸費	219,410,000	195,212,886	0	24,197,114	24,197,114
	2 高額療養費	13,160,000	8,253,072	0	4,906,928	4,906,928
	3 移送費	1,000	0	0	1,000	1,000
	4 出産育児諸費	1,680,000	1,680,000	0	0	0
	5 葬祭諸費	1,140,000	840,000	0	300,000	300,000
	6 傷病諸費	3,787,000	997,000	0	2,790,000	2,790,000
4 後期高齢者支援金等	1 後期高齢者支援金等	87,817,000	87,389,107	0	427,893	427,893
5 前期高齢者納付金等	1 前期高齢者納付金等	6,000	4,844	0	1,156	1,156
6 介護納付金	1 介護納付金	43,863,000	43,862,528	0	472	472
7 共同事業拠出金等		26,984,000	26,491,668	0	492,332	492,332
	1 共同事業拠出金	23,538,000	23,538,000	0	0	0
	2 共同事業負担金	3,446,000	2,953,668	0	492,332	492,332
8 保健事業費		23,639,000	21,091,279	0	2,547,721	2,547,721
	1 特定健康診査等事業費	3,591,000	3,285,431	0	305,569	305,569
	2 保健事業費	20,048,000	17,805,848	0	2,242,152	2,242,152
9 積立金	1 積立金	5,000	0	0	5,000	5,000
10 組合債費	1 組合債費	1,000	0	0	1,000	1,000
11 諸支出金	1 償還金及び還付加算金	892,783	892,783	0	0	0
12 予備費	1 予備費	76,620,217	0	0	76,620,217	76,620,217
歳出合計		554,451,000	432,122,702	0	122,328,298	122,328,298

～保健事業のご案内～

実施期限：令和6年3月末日 請求期限：令和6年5月17日（必着）

● 特定健診

健康診断個人票（水色）の必須検査項目（★）は必ず実施してください。
対象者は年度中に40歳～74歳になる方です。

自院でも組合員およびご家族の特定健診を実施することができますが、組合員が自らに対して健診を行った場合（自己健診）は、特定健診の対象とはなりません。

すでに健診を受けた方は、健康診断個人票に記入のうえ、健診結果のコピーを添付して提出してください（結果の転記は不要）。

● 特定保健指導

対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りします。利用券が届いた方は、ご案内に記載している特定保健指導実施機関にて保健指導を受けてください。

● 宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日健診を実施しています。

ご予約は当組合へ（☎0985-22-6588）

Web申込みもできます!⇒



年	月 日	日曜日健診 (定員各30名)	オプション		
			胃内視鏡 検査 (定員各6名)	低線量ヘリカルCT 肺がん検診 (定員各8名)	マンモグラフィ 検査 (定員若干名)
令和5年	10月15日	△	×	×	○
	11月19日	○	△	○	○
	12月10日	○	×	△	○
令和6年	1月21日	○	×	△	×
	2月25日	○	×	×	○
	3月10日	○	×	○	○
	3月24日	○	○	○	○

(令和5年8月10日現在) ○：予約可, △：間もなく定員, ×：予約不可

● その他保健事業

1	胃・大腸内視鏡検査の補助	4	肺炎球菌ワクチン接種補助
2	低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）	5	乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
3	脳ドックなどの補助	6	歯科健康診査（無料）

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

事業所が法人化するなどの場合は、社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが、医師国保にすでに加入中の方は、年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は、当組合Webサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

8月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年8月1日～8月22日

1	クスノキの番人	東 野 圭 吾	実業之日本社文庫
2	ハンチバック	市 川 沙 央	文 藝 春 秋
3	すべての恋が終わるとしても	冬 野 夜 空	スターツ出版
4	52ヘルツのクジラたち	町 田 そのこ	中 公 文 庫
5	柳橋の桜（三）	佐 伯 泰 英	文 春 文 庫
6	変な家	雨 穴	飛 鳥 新 社
7	正 欲	朝 井 リョウ	新 潮 文 庫
8	青瓜不動	宮 部 みゆき	角 川 書 店
9	朝イチの「ひとり時間」が人生を変える	キ ム ・ ユジン	文 響 社
10	中村天風怒らない恐れえない悲しまない	池 田 光	三 笠 書 房



令和5年7月4日(火) 第7回全理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について

→後期高齢者の療養費の適正化について検討する研究会の委員について、任期満了に伴い内科2名、整形外科2名の委員の推薦依頼があり、本会役員から石川常任理事と河原理事、残り2名については現委員に再任の方向で意向を確認し、必要があれば専門分科医会に人選をお願いし推薦することが承認された。

②宮崎県地域医療対策協議会委員等の推薦について

→医師確保の推進や関係機関との連携を通じて県内の地域医療提供体制の整備充実を図ることを目的に設置される協議会の委員について、任期満了に伴う推薦依頼があり、協議会の委員に河野会長、金丸常任理事、上山理事、幹事会の委員に金丸常任理事を推薦することが承認された。

2. 厚生功労に係る令和6年春の叙勲及び褒章候補者の推薦について

1名を推薦することが承認された。

3. 7/27(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、荒木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①10/14(土) (小林市) 第63回県精神保健福祉大会の後援について

→県民の心身の健康の保持増進や地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に「伝わるころろ ささえ合う地域」をテーマに開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

②12/10(日) (宮崎市) 第37回青島太平洋マラソン2023救護態勢へのご協力をお願い

→宮崎市において開催されるマラソン大会の救護態勢に関する依頼で、協力することが承認された。

5. 業務委託について

①令和5年度糖尿病発症予防及び糖尿病性腎症重症化予防研修事業に係る業務の委託契約について

→糖尿病の診断および治療の方針を定める医師を対象とした研修会を開催し、糖尿病連携手帳の活用や二次医療圏ごとの多職種連携体制を構築する事業で、委託契約を締結することが承認された。

6. 7・8月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6月末日現在の会員数について

3. 6/25(日) (日医) 日医定例代議員会について

4. 6/27(火) (県医) 日医理事会について

5. 6/28(水) (宮崎市郡医師会館) 宮崎市郡医師会定時総会について

6. 6/30(金) (大分) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について

7. 7/3(月)(県防災庁舎) 県医療審議会及び
県医療介護推進協議会について
8. 6/26(月)(日医) 日医地域医療対策委員会に
ついて
9. 6/29(木)(県防災庁舎) 県医療審議会医療計
画部会について
10. 6/30(金)(県企業局) 県個人情報保護審議会
について
11. 6/30(金)(県庁) 県精神科救急医療システム
連絡調整委員会について
12. 7/2(日)(大阪) レジナビフェアについて
13. 6/22(木)(県医) 県訪問看護ステーション連
絡協議会役員会について
14. 6/30(金)(シーガイア) 病院部会・医療法人
部会定時総会について
15. 6/22(木)(九州厚生局宮崎事務所) 社会保険
医療担当者の個別指導について
16. 6/24(土)(県医) 県認知症高齢者グループホ
ーム連絡協議会理事会・総会・研修会につ
いて
17. 6/26(月)(県医) 園医部会理事会について
18. 6/29(木)(小林市) 社会保険医療担当者の個
別指導について
19. 6/30(金)(県防災庁舎) 県歯科保健推進協議
会実務者会議について
20. 6/28(水)(宮崎労働局) 労災診療指導委員会
について
21. 6/22(木)(県医) 日本プライマリ・ケア連合
学会九州支部総会・学術大会実行委員会に
ついて

医師連盟関係

(議決事項)

1. 令和6年度国・県に対する政策・予算等要
望について

役員に照会の結果、「新型コロナウイルス
感染症対策について」をはじめ国に8項
目、県に10項目の要望を提出すること及
び7月28日(金)のヒアリングと政策懇談会

に河野委員長、山村・小牧常任執行委員が
出席することが確認された。

(報告事項)

1. 7/1(土)(MRT-micc) 参議院議員長峯誠
政経セミナーについて
2. 7/2(日)(北九州市) 自見はなこ政経セミ
ナーについて
3. 7/2(日)(北九州市) 自見はなこ参議院議
員・松本日医会長との意見交換会について

令和5年7月11日(火) 第4回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①新人看護職員研修推進協議会委員の推薦
について

→新人看護職員研修事業の円滑な推進を
図るために設置されている協議会で、
任期满了に伴う委員の推薦依頼があり、
医療従事者担当の池井常任理事を推薦
することが承認された。

②宮崎地方労働審議会委員(第12期)の就
任承諾について

→労働関係法令の施行や公共職業安定所
の業務に関する重要事項を調査・協議
する審議会で、任期满了に伴い現委員
である吉見常任理事への就任依頼があ
り、承認された。

③スポーツメディカルサポート体制検討ワ
ーキンググループの委員への就任について
→スポーツメディカルサポート体制検討
会議の下部組織として新たに設置され
る実務的な検討を行うワーキンググル
ープで、大塚常任理事への就任依頼が
あり、承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①9/16(土)(県立美術館)「認知症の人と家

族の会宮崎県支部結成30周年記念講演会」
名義後援に関連するお願い

→結成30周年記念を機に、これまでの活動の振り返りや宮崎における認知症の理解を深めるために開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

②11/18(土)・19(日) (宮大医学部) 第19回清花祭 (きよかさい) 清武キャンパス医学展の名義後援について

→宮崎大学学園祭の清花祭において医学部の学生が医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うことが承認された。

3. 7/25(火) (宮観ホテル) 各郡市医師会長協議会・羽生田たかし参議院議員国政報告会について

議題や当日の流れ、役割分担が確認された。

4. 8/5(土) (熊本) 九州医師会連合会第409回常任委員会の開催について

河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

5. 7/20(木) (日医) 令和5年度都道府県医師会社会保険・情報システム担当理事連絡協議会開催について

オンライン資格確認について協議をする会議で、荒木常任理事と嶋本常任理事が出席することが承認された。

6. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

感染症発生動向調査事業に協力をする指定届出機関について、インフルエンザ/COVID 19定点医療機関の辞退に伴う推薦依頼があり、1医療機関を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 7/5(水) (県医) 日医有床診療所委員会について

3. 7/8(土) (長崎) 九医連常任委員会について

4. 7/10(月) (県医) 広報委員会について

5. 7/4(火) (宮観ホテル) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会について

6. 7/5(水) (県防災庁舎) 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会について

7. 7/8(土) (シーガイア) 県専門研修プログラム合同説明会について

8. 7/8(土) (宮崎市民プラザ) 看護進路相談会について

9. 7/6(木) (宮大医学部) 宮大医学部医の倫理委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8/28(月) (宮観ホテル) 三師会懇談会の開催について

河野委員長他6名の参加と、提出議題があれば事務局を経由して委員長に提出し、取扱いについては委員長に一任することが承認された。

(報告事項)

1. 7/8(土) (長崎) 九州医連連絡会常任執行委員会について

令和5年7月25日(火) 第8回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①九州地方社会保険医療協議会臨時委員の委嘱について

→保険医療機関の指定や取消しなどを審議する九州地方社会保険医療協議会宮崎部会の、診療側臨時委員の任期満了に伴い、引き続き嶋本常任理事に委嘱をしたいとの依頼で、承認をした。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①9/3(日) (MRT-micc)「秋の『すいみんの日』～宮崎県民公開講座2023～」宮崎県医師会への後援依頼書について
→睡眠の重要性、日常の睡眠衛生指導、不眠症の啓発等を目的に開催される県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

3. 令和5年度公衆衛生事業功労者表彰（日本公衆衛生協会会長表彰）候補者の推薦について

公衆衛生事業のために永年にわたり献身的かつ模範的な活動を続けてきた方を表彰するための推薦依頼で、各郡市医師会に照会の結果、3名を推薦することが承認された。

4. 8/26(土)（長崎）九州医師会連合会第410回常任委員会並びに第125回定例委員総会の開催について

常任委員会については河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局へ提出し取扱いについては会長に一任することが承認された。定例委員総会については、河野会長を含む9名の九医連役員の出欠を確認したうえで回答することが承認された。

5. 休日における県医師会館研修室使用願いについて

休日の県医師会館の使用許可願いがあり、事情を斟酌し許可することが承認された。

6. 8/31(木)令和5年度「医療機関の宿日直許可制度及び新様式の36協定届」に関する研修会について

県、労働局、勤務環境改善支援センターが講師となり医療機関等に対して開催するWebによる研修会で、開催することが承認された。

7. 10/21(土)（福井）第73回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等の開催について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会

等をもって組織される協議会で、山村副会長と池井常任理事の出席が承認された。

8. 業務委託について

- ①令和5年度不安を抱える妊婦への分娩前新型コロナウイルス検査業務の委託について

→当初、令和6年3月31日までであった委託契約期間を新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和5年9月30日に短縮して契約を結びなおすことが承認された。

- ②令和5年度救急医療施設医師等研修業務について

→救急医療に対する学識と技能向上を図ることを目的とした研修事業で、委託契約を締結することが承認された。

9. 10/7(土)（青森）全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催について

「2024年、変わる勤務医、輝く勤務医」をテーマに開催される協議会で、嶋本常任理事と田畑理事が出席することが承認された。なお、この他、日医勤務医委員の立場で金丸常任理事が、本会勤務医部会から山中理事他3名が出席をする。

（報告事項）

1. 7/12(水)（支払基金）支払基金審査運営協議会について
2. 7/18(火)（日医）日医理事会等について
3. 7/18(火)（日医）都道府県医師会会長会議について
4. 7/23(日) 全国有床診療所連絡協議会役員会について
5. 7/18(火)（県防災庁舎）県保健医療福祉調整本部関係者会議について
6. 7/15(土)（大分）九州医師会連合会監査会について
7. 7/24(月)（県庁）県国民健康保険運営協議会

について

8. 7/24(月) (県医) 広報委員会について
9. 7/21(金) (日医) 日医医師会共同利用施設検
査委員会について
10. 7/20(木) (日医) 都道府県医師会社会保険・
情報システム担当理事連絡協議会について
11. 7/20(木) (県防災庁舎) 県自殺対策推進協議
会について
12. 7/13(木) (県医) 県糖尿病対策推進会議幹事
会について
13. 7/14(金) (日医) 日医勤務医委員会について
14. 7/18(火) (高鍋保健所) 西都・児湯医療圏地
域医療構想調整会議について
15. 7/22(土)・23(日) (東京) 日医未来医師会ビ
ジョン委員会について
16. 7/24(月) (県防災庁舎) 県スポーツメディカ
ルサポート体制検討ワーキンググループに
ついて
17. 7/21(金) (日医) 日医予防接種・感染症危機
管理対策委員会について
18. 7/11(火) (県医) 県有床診療所協議会役員会

について

19. 7/22(土) (県医) 労災部会総会について
20. 7/8(土) (県医) 産業医研修会 (実地) につ
いて
医師連盟関係
(議決事項)
1. 8/26(土) (長崎) 九州医連連絡会第24回執行
委員会の開催について
河野委員長を含む9名の九州医連連絡会
執行役員の出欠を確認したうえで回答する
ことが承認された。
2. 9/30(土) (都城市) 日本創造研究会主催「第
14回特別セミナー」について
「日本が直面する課題と進路」の講演が
行われるセミナーで、協力することが承認
された。
3. 9/10(日) (シーガイア) 衆議院議員渡辺創政
経セミナー2023夏について
「政権交代はなぜ必要か『失われた10年
を取り戻す』」の講演が行われるセミナー
で協力することが承認された。

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

県 医 の 動 き

(8月)

1	(熊本)九州地区健康教育研究大会(会長) 第5回常任理事協議会(会長他)	20	中四九地区医師会看護学校協議会(Web会議) (赤須常任理事) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 河野しゅんじ後援会事務所夏季懇談会 (河野委員長)
2	県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 (金丸常任理事)	21	日医地域医療対策委員会(Web会議)(山村副会長) 広報委員会(荒木常任理事他) 学校医部会総会・医学会(Web会議)(会長他)
3	県地方独立行政法人評価委員会(山村副会長) (日医)日医医療経営検討委員会(吉田常任理事) 県警察官友の会宮崎北支部定時総会・懇親会 (玉置理事) 男女共同参画委員会(Web会議)(荒木常任理事他)	22	(日医)日医監事会(会長) (日医)武見フェロー帰国報告会(会長) (日医)日医理事打合せ(会長) (日医)日医理事会(会長) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・ 学術大会実行委員会(Web会議)(玉置理事)
4	日医有床診療所委員会(Web会議)(会長) 県外科医会夏期講演会(Web会議) 倫理審査・治験審査に関する検討会議 (荒木常任理事他)	23	県感染症対策連携協議会(山村副会長他)
5	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 (熊本)九州学校検診協議会専門委員会 (高木常任理事他) (熊本)九医連常任委員会(会長) (熊本)九州学校検診協議会役員会(会長他) (熊本)九州各県学校保健担当理事者会(会長他)	24	社会保険医療担当者の新規個別指導 (嶋本常任理事) (日医)改正感染症法等に基づく協定に関する説 明会(都道府県医師会感染症医療提供体制担 当理事連絡協議会)(Web会議)(山村副会長他) 医師国保組合理事会(秦理事長他)
6	(熊本)九州ブロック学校保健・学校医大会/ 九州学校検診協議会(会長他) (熊本)九医連学校医会評議員会(会長他)	25	日医公衆衛生委員会(Web会議)(峰松理事) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルア ップ研修会(Web会議)(石川常任理事) 県内科医会医療保険委員会(Web会議)(玉置理事)
7	宮崎の医療を考える会(若手記者と広報委員 会との勉強会)(荒木常任理事他)	26	産業医研修会(前期)(河原理事) 在宅医療協議会総会・研修会(石川常任理事) (長崎)九医連常任委員会(会長) (長崎)九医連定例委員総会(会長他) (長崎)九州医連連絡会執行委員会 (河野委員長他)
8	第9回全理事協議会(Web会議)(会長他)	27	日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度応 用研修会(日医TV会議)
10	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理 事会(Web会議)(石川常任理事) かかりつけ医機能に関する研修会(Web会議) (会長他)	28	三師会懇談会(河野委員長他) 県産婦人科医会医療保険委員会(嶋本常任理事他)
11	県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研 修会(池井常任理事)	29	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 医協理事会(河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会(河野理事長他) 第10回全理事協議会(会長他) 役職員懇談会(会長他)
16	支払基金審査運営協議会(会長)	30	労災診療指導委員会(赤須常任理事他) 県医療審議会医療計画部会(山村副会長他)
17	県産婦人科医会全理事会(Web会議) (嶋本常任理事他)	31	県感染症対策審議会(吉田常任理事) 県地域医療対策協議会(会長他) 「医療機関の宿日直許可制度及び新様式の36協 定届」に関する研修会(Web会議)
18	勤務医部会総会・前期講演会(Web会議) (山村副会長他)		
19	県小児科医会子ども健康セミナー (高木常任理事) (沖縄)九州地区医師国保組合連合会理事会 (佐々木理事) (沖縄)九州地区医師国保組合連合会全体協議会 (佐々木理事)		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年8月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	3	0	3
外 科	1	0	1
検 診	2	0	2
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 92人

	合 計
令和5年度(4/1～8/1)	2
平成16年度から累計	92

3. 求人登録 97件 268人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	86	65	21	消化器外科	3	2	1
外 科	21	18	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	20	17	3	健 診	2	2	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	13	10	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	4	4	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	10	7	3
小 児 科	3	2	1	リウマチ科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	0	0	0
総合診療科・内科	9	7	2	診 療 科 目 不 問	5	2	3
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	9	7	2	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	5	4	1
リハビリテーション科	4	3	1	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	268	210	58

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラムみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内	2	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230199	医) 社団アブラムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内, 心内	2	常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精, 内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	都城健康サービスセンター	都城市	放, 消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整, 内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外, 消内	2	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内, 循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	内, 消内, 消外, 放	4	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内, 小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精, 内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌, 透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内, 外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内, 整, リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内, 外, リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内, 整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内, 整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内, 循内, 呼内, 糖内	4	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内, 外, 麻, 健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診, 救急, 呼内, 循内, 神内, 整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内, 腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内, 外, 整, 総診, 透, 循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内, 整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内, リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精, 内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内, 外, 整, 在宅, 眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内, 外, 総診, 消内, 腎内, 呼内	6	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内, 整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 百瀬病院	日南市	内, 外, 消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230228	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	非常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内, 内, 外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放, 内, 総診, 麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外, 内, 総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内, 眼	3	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整, 内, 循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内, 眼, 小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内, 外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年8月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyouto@miyazaki.med.or.jp

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年8月29日

9		月					
1	金		16 土 15:00 県産婦人科医会秋期定時総会・学術講演会	↑			
2	土	12:00	(福島) 全国有床診療所連絡協議会常任委員会・役員会・総会・講演会	17 日			
		15:30	(鹿児島) 全国国保組合協会九州支部監査会	18 月			
		15:30	県医師会医学会 (Web会議)	19 火	10:00	日医監事会 (Web会議)	
		16:00	(鹿児島) 全国国保組合協会九州支部総会		11:00	日医役員勉強会 (Web会議)	
		16:30	(福岡) 九州医師協同組合連合会理事会		13:00	日医理事打合せ (Web会議)	
3	日	8:50	(福島) 全国有床診療所連絡協議会講演会	19 火			
4	月	16:30	県立病院事業評価委員会	20 水			
5	火	19:00	第6回常任理事協議会	19:00	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 広報委員会	↑	
6	水			21 木	10:00	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座	↓
7	木	14:00	宮大医学部医の倫理委員会	21 木	18:30	社会保険医療担当者の集団的個別指導	↓
		18:00	医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)		19:00	労災部会自賠委員会 (Web会議)	
		19:00	医師会組織強化に係る日医役員の面会	22 金	19:45	損害保険医療協議会 (Web会議)	↓
8	金	14:00	日医年金委員会 (Web会議)	23 土	(秋分の日)		
9	土	12:00	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会	23 土	15:00	日医未来医師会ビジョン委員会	
10	日	14:00	(岡山) 全国医師会共同利用施設総会	24 日			
11	月	19:00	広報委員会	24 日			
12	火	19:00	第11回全理事協議会 (Web会議)	25 月	19:00	医療保険委員会 (Web会議)	↓
13	水	16:00	支払基金審査運営協議会	26 火	13:30	全国国保組合理事長・役員研修会	
14	木	19:00	県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	26 火	18:30	医協理事会	
15	金	19:00	県有床診療所協議会総会・講演会 (Web会議)	26 火	19:00	医協理事・運営委員合同協議会 第12回全理事協議会	
				27 水	15:00	労災診療指導委員会	
				27 水	18:00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
				27 水	19:00	県子宮頸がん予防 (HPV) ワクチン接種促進事業研修会 (Web会議)	
				28 木	19:00	医療事故調査支援委員会常任委員会	
				28 木	19:00	健康スポーツ医学委員会	
				29 金	13:00	日医勤務医委員会 (Web会議)	
				29 金	19:00	医師国保組合理事会	
				30 土		県大規模地震時医療活動訓練	
				30 土	14:00	かかりつけ医認知症対応力向上研修会 (Web会議)	
				30 土	14:00	(佐賀) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議	
				30 土	14:30	産業医研修会 (前期)	

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年8月29日

		10		月					
1	日	9:00	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会	18	水	16:00	支払基金審査運営協議会		
2	月	19:00	園医部会総会・研修会(Web会議)			19:00	生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(Web会議)		
3	火	18:30	第13回全理事協議会	19	木	15:00	日医医療経営検討委員会		
		19:00	宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会			18:00	医師クラーク育成・スキルアップ研修会(Web会議)		
4	水	15:00	日医地域医療対策委員会			19:00	広報委員会		
5	木	15:00	日医有床診療所委員会	20	金				
6	金	18:30	県がん対策審議会			19:00	県外科医会秋期講演会		
7	土	10:00	(青森)全国医師会勤務医部会連絡協議会	21	土	13:00	保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会		
		14:30	産業医研修会(実地)			16:00	(福井)全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等		
8	日			22	日			国 保 審 査	↑
9	月		(スポーツの日)	23	月				
10	火	19:00	第7回常任理事協議会	24	火	13:30	みやざき愛の献血運動推進県民大会		
11	水	19:00	広報委員会			18:00	医協理事会		
12	木	9:30	県による公益法人立入検査			18:30	医協理事・運営委員合同協議会		
		18:30	県循環器病対策推進協議会			終了後	第14回全理事協議会		
		19:00	県産婦人科医会常任理事会(Web会議)			19:00	各都市医師会長協議会		
13	金			25	水	15:00	労災診療指導委員会		
		14:00	(長崎)九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会			19:00	医療従事者向け認知症対応力向上研修会(Web会議)		
14	土	16:00	(長崎)九医連常任委員会	26	木	18:00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会		
		16:00	(長崎)九医連各種協議会						
		18:10	(長崎)九医連各種協議会報告会						
15	日	13:30	宮崎から医師を目指そう応援フォーラム	27	金	13:00	(兵庫)全国学校保健会中央大会		
		14:00	県小児科医会秋季学術講演会			19:00	(兵庫)全国学校保健・学校医大会会長招宴		
		14:00	河野しゅんじ県政報告会	28	土	10:00	(兵庫)全国学校保健・学校医大会		
16	月	14:00	労災診療費算定実務研修会			16:00	(福岡)九州医師協同組合連合会通常総会		
17	火	10:30	(日医)日医監事会	29	日				
		12:00	(日医)日医理事打合せ						
		12:30	(日医)日医理事会						
		14:20	(日医)都道府県医師会長会議						
		16:30	(日医)日医連執行委員会						
		18:30	(東京)自見はなこ政経セミナー						
				30	月	14:00	県医療費適正化計画策定検討委員会		
						19:00	県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議		
				31	火				

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

**作品
募集中**

生命

いのち

第7回

を見つめる

フォト&エッセー

フォト
部門

エッセー
部門

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)

■ フォト部門


岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwago


奈緒
俳優 他

■ エッセー部門


養老孟司
東京大学名誉教授
/ 解断学者


玄侑宗久
作家 / 福原守住襲


水野真紀
俳優 他

応募締め切り

2023年
10月4日 水

必着



公式ホームページ <https://jigyuu.yomiuri.co.jp/photo-essay/> 生命を見つめるフォト&エッセー 検索

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社





生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2020年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点までに限りです。



一般の部

小中高生の部

- 厚生労働大臣賞**(1点) 賞金**10万円**、賞状他
- 日本医師会賞**(1点) 賞金**10万円**、賞状他
- 読売新聞社賞**(1点) 賞金**10万円**、賞状他
- 審査員特別賞**(数点) 賞金**5万円**、賞状他
- 入選**(数点) 賞金**3万円**、賞状他
- 文部科学大臣賞**(1点) QUOカード**3万円分**、賞状他
- 優秀賞**(数点) QUOカード**5,000円分**、賞状他



病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定で「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では、生命(いのち)を身近に感じたエピソードをテーマとします。

【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。
【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。

- 応募は1人1点までに限りです。
- チャットGPTを利用して文章を作成した作品は応募できません。



一般の部

中高生の部

小学生の部

- 厚生労働大臣賞**(1点) 賞金**30万円**、賞状他
- 日本医師会賞**(1点) 賞金**30万円**、賞状他
- 読売新聞社賞**(1点) 賞金**30万円**、賞状他
- 審査員特別賞**(数点) 賞金**10万円**、賞状他
- 入選**(数点) 賞金**3万円**、賞状他
- 文部科学大臣賞**(1点) QUOカード**3万円分**、賞状他
- 優秀賞**(数点) QUOカード**5,000円分**、賞状他
- 文部科学大臣賞**(1点) QUOカード**1万円分**、賞状他
- 優秀賞**(数点) QUOカード**5,000円分**、賞状他

応募締め切り
2023年10月4日(水) 必着

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
 - 応募作品は返却いたしません。
 - 入賞作品の発表は、2024年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトにも、作品と実名、年齢、顔写真、学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
 - 表彰式は2024年2月に東京都内で実施予定です。
 - 医師および医療従事者も応募可能です。
- ※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

作品送付先 〒104-0061
東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F
「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募方法

- ◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ (<https://jigyoyou.yomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- ◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- ◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。

公式ホームページ QRコード



【問い合わせ】読売新聞東京本社 次世代事業部「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局 Tel:03-3216-8598(平日10:00-17:00)

応募用紙 ※氏名は実名のみ受付となります。

応募部門	フォト部門 一般の部	フォト部門 小中高生の部	エッセー部門 一般の部	エッセー部門 中高生の部	エッセー部門 小学生の部	題名	
氏名	フリガナ					年齢	歳
住所	〒					TEL () -	
	都道府県					FAX () -	
MAIL	@						
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影場所	撮影機材				
確認の上、チェックを入れてください	<input type="checkbox"/> この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません <input type="checkbox"/> この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません <input type="checkbox"/> 入賞作品は、主催者、協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名、年齢、作品、顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します <input type="checkbox"/> (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません						
本誌に載せたかったか	(1) このチラシを見て (2) 読売新聞を見て (3) 読売新聞ホームページを見て (4) 日本医師会ホームページを見て (5) 日本医師会公式 YouTube チャンネルを見て (6) 日本医師会からのお知らせを見て (7) 学校(小・中・高・大・専門)で見て (8) 公募サイトで見て(具体的に:) (9) その他(具体的に:)						

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。



医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師獣医師 連携セミナー 9月1日(金) 19:00~21:00 県医師会館	SFTS：10年の小括とこれからの課題 山口県立総合医療センター 血液内科診療部長 高橋 徹	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎ワンヘルス研究会 ☎0985-24-4181 ◇共催 宮崎大学産業動物防 疫リサーチセンター ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県獣医師会
	SFTSの自然宿主の探索 国立感染症研究所 獣医科学部 部長 前田 健	8 (1.0)	
令和5年度宮崎県 医師会医学会 (Web講習会) 9月2日(土) 15:30~17:35 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	画像診断におけるAIの活用 宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子	9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	呼吸器外科手術の発展と展望：ロボット手術と単孔式 手術 藤田医科大学 岡崎医療センター 副院長 須田 隆	7 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第34回宮崎県糖尿病教育セミナー 9月3日(日) 9:55~16:45 KITTO小林2階 交流スペース 参加費:3,000円	循環器内科医の視点から見た糖尿病診療 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 副部長	76 (1.0)	◇主催 宮崎県糖尿病懇話会 ◇共催 宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構 ※ノボルディスクファーマ(株) ☎0985-20-1891 ◇後援 宮崎県医師会 西諸医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県栄養士会 宮崎県臨床検査技師会 宮崎県糖尿病療養指導士会 宮崎県糖尿病対策推進会議
	糖尿病網膜症 ~最新の診断機器と抗VEGF硝子体注射について~ 柘山医院 院長	36 (1.0)	
	サステナブル(持続可能)な食事療法 ~できる事から始めよう~ 池井病院 管理栄養士	82 (0.5)	
	糖尿病と動脈硬化 池井病院 内科	82 (0.5)	
	糖尿病合併症における循環器疾患について 池井病院 看護師	73 (0.5)	
	当院における血糖降下薬使用患者への介入例 都城市郡医師会病院 薬剤科	73 (0.5)	
	長期介入をしているが合併症進行により生活が困難となっている患者の一例 都城市郡医師会病院 管理栄養士	10 (0.5)	
	口腔と糖尿病の関連性について 佐野歯科 院長	10 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 9月8日(金) 19:00~21:00 県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(1) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 生涯研修の専門研修会:2単位	69 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
県北産婦人科医会 (9月度例会) (Web講習会) 9月8日(金) 19:00~20:00 延岡市医師会病院 ※受講は現地またはWeb	妊娠中の比較的稀な内科合併症 宮崎大学医学部 産婦人科 主任教授 桂木 真司	71 (1.0)	◇主催 県北産婦人科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎市郡産婦人科 医会9月例会学術 講演会 (Web講習会) 9月11日(月) 19:00~20:15 宮崎大学医学部 ※受講はWebのみ	妊娠中の鉄欠乏性貧血と当院における治療の実際 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 助教 中山 徹男	71 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 日本新薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	胎盤病理 宮崎大学医学部附属病院 病理診断科・病理部 病理診断科科长 病理部部長 准教授 佐藤 勇一郎	71 (0.5)	
第177回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 9月11日(月) 19:00~20:10 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	心不全における非薬物療法~効果的なタイミングとは~ 東京医科大学病院 循環器内科 主任教授 里見 和浩 他	43 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 日本メドトロニック(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業 医研修会 9月13日(水) 19:00~21:00 県医師会館	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
佐土原地区医師会 よろず相談室 ～心不全のプロフ ェッショナル!!佐 藤先生の頭の中を 見てみたい!!明日 から使える高血圧 と心不全治療～ (Web講習会) 9月13日(水) 19:00～20:00 シーガイアコンベ ンションセンター ※受講は現地また はWeb	心不全予防と介入 多職種によるアプローチの重要性 かわぐち心臓呼吸器病院 循環器内科部長 内科統括部長 副院長 佐藤 直樹	74 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※ノバルティスファーマ(株) ☎070-2196-6634
第53回児湯内科医 会学術講演会 9月13日(水) 19:00～20:00 ホテル四季亭2階 「舞鶴の間」	神経難病患者に対する役割と課題 ～海老原総合病院リハビリテーション部の取り組み～(仮) 海老原総合病院 リハビリテーション部 副主任 河野 宏信	19 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 協和キリン(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
	内科医が遭遇する神経疾患 ～しびれ・痛み・感覚障害からパーキンソン病まで～ 海老原総合病院 脳神経内科 部長 望月 仁志	63 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 9月15日(金) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和5年度宮崎県 有床診療所協議会 総会・講演会 (Web講習会) 9月15日(金) 19:00~20:00 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	最近の医療情勢と有床診療所の将来展望 日本医師会 常任理事 神村 裕子	6 (0.5)	◇主催 ※宮崎県有床診療所協議会 ☎0985-22-5118
超高齢化社会の心 房細胞治療を考 える会 in Miyazaki (Web講習会) 9月15日(金) 19:00~20:00 宮崎観光ホテル東 館2階「日向の間」 ※受講は現地また はWeb	高齢心房細胞患者の治療：日本人で得られたエビデ ンスを活用する 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科 不整脈先端治療部門 最高技術顧問 奥村 謙	43 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710
令和5年度宮崎県 産婦人科医会・宮 崎県産科婦人科学 会秋期定時総会・ 学術講演会 (Web講習会) 9月16日(土) 15:00~18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	産婦人科における遺伝医療の話題 長崎大学 医歯薬学総合研究科 産科婦人科学 教授 三浦 清徳 他	0 (2.5)	◇主催 宮崎県産婦人科医会 ◇共催 宮崎県産科婦人科学会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第243回宮崎県泌尿 器科医会 9月21日(木) 19:00~20:20 アートホテル宮崎 スカイタワー3階 「向日葵」	当院における排尿ケアチームの活動状況について 宮崎市郡医師会病院 WOC看護師 酒井 美香 他 ガイドラインから見た最新の排尿ケア 日本大学医学部附属板橋病院 泌尿器科 主任教授 病院長 高橋 悟	66 (0.5) 65 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 (株)大塚製薬工場

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月26日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	江藤 敏治 ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
南那珂医師会地域 保健医学会 9月29日(金) 19:00~20:00 南那珂医師会館	医療と仕事の両立支援について 宮崎産業保健総合支援センター 産業保健専門職	7 (1.0)	湯川 裕美 他 ◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411
宮崎県医師会産業 医研修会 10月4日(水) 19:00~21:00 県医師会館	今日の自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	中村 究 ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和5年度第3回 医療安全管理・感 染対策講演会 10月5日(木) 16:00~17:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	当院の感染対策UP-TO-DATE2023 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 専門医共通講習-感染対策(必修)：1単位	8 (1.0)	高城 一郎 ◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属 病院医療人育成課卒 後臨床研修係 ☎0985-85-1864
令和5年度宮崎県 外科医会秋期講演 会(日本臨床外科 学会地方会) (Web講習会) 10月6日(金) 19:00~20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	宮崎県の外科医療の未来のために私たちにできること 鮫島病院 江藤 忠明	1 (1.0)	◇主催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月11日(水) 19:00~21:00 県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第35回ひむか骨 関節・脊椎脊髄疾 患セミナー (Web講習会) 10月14日(土) 15:25~19:00 宮崎観光ホテル東 館2階「紅日向」 ※受講は現地また はWeb	セメント人工関節置換術の過去・現在・未来 近畿大学医学部 整形外科学教室 主任教授 後藤 公志 ----- 脊椎疾患診療・研究におけるピットフォール 東北大学 医学系研究科 医科学専攻外科病態学講座 整形外科学分野 教授 相澤 俊峰	61 (1.0) 60 (1.0)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎 脊髄疾患セミナー ◇共催 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736
第203回宮崎県眼 科医会講習会 10月14日(土) 16:00~19:15 KITENビル8階 大会議室 参加費：3,000円	nAMD治療におけるmodified TAE法とバビースモの可能性 関西医科大学附属病院 眼科 准教授 永井 由巳 ----- Ang-2/VEGF-A同時阻害による糖尿病黄斑浮腫の新規 治療戦略 北海道大学医学研究院 眼科学教室 教授 石田 晋	36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 中外製薬(株)
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講習会) 10月18日(水) 19:00~20:30 アートホテル宮崎 スカイタワー ※受講は現地また はWeb	当院におけるデュピクセントの使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 助教 西川 陽太郎 ----- 結節性痒疹とアトピー性皮膚炎に対する最新治療 長崎大学 医師薬学総合研究科 皮膚科学分野 教授 室田 浩之	26 (0.5) 73 (1.0)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎080-6778-6526

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第8回地域におけるウイルス性肝炎治療を考える会 (Web講習会) 10月19日(木) 19:00~20:40 ニューウェルシティ宮崎1階「アンジェラス」 ※受講は現地またはWeb	宮崎医療センター病院の目指す緩和ケア 宮崎医療センター病院 緩和ケアセンター センター長 宮崎大学医学部 医学臨床教授 高橋 稔之	81 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ギリアド・サイエンス(株) ☎090-2932-2794
	MAFLD/MASLDから考える脂肪肝とウイルス性肝炎 久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門 主任教授 川口 巧	27 (1.0)	
第69回宮崎県スポーツ学会 10月21日(土) 15:00~18:30 宮崎大学医学部臨床講義室205	腰痛に対する理学療法 桐蔭横浜大学 スポーツ科学研究科 教授 成田 崇矢	60 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	スポーツビジョン研究の現状と未来への展望 順天堂大学医学部 眼科学講座 助教 工藤 大介	36 (1.0)	
	スポーツにおける半月板損傷の治療ー現状と展望ー 大阪行岡医療大学 医療学部 理学療法学科 教授 前 達雄	61 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月24日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福祉センター	上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 11月8日(水) 19:00~21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
令和5年度第1回 宮崎県かかりつけ 医等発達障害対応 力向上研修会 (Web講習会) 11月12日(日) 9:00~12:00 県医師会館 ※受講はWebのみ	発達障害診療に必要な知識 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こそえ	72 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	発達障害診療の実際の流れ 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こそえ	72 (1.0)	
	県内の診療体制と紹介システムの案内 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こそえ	12 (1.0)	
「皮膚の日」講演会 (Web講習会) 11月12日(日) 14:00~15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地またはWeb	炭水化物 $C_n(H_2O)_n$ {糖の話} ~甘い糖, 甘くない糖(糖鎖)~ 青木皮膚科 出盛 允啓	9 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・ 日本臨床皮膚科医会 宮崎県支部 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
宮崎県医師会産業 医研修会 11月17日(金) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会: 2単位	76 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合 支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月21日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会: 2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合 支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



アレルギー免疫療法の過去・現在・未来

宮崎大学医学部附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 後藤 隆 史

鼻科領域の特に鼻副鼻腔手術を主に担当させていただきます。宮崎大学耳鼻科の後藤と申します。

今回、「舌下免疫療法の臨床的な話」に関する原稿を依頼いただきました。すでにご存知の先生には釈迦に説法な話にはなりますが、どうぞご覧いただければ幸いです。

スギ花粉症やダニアレルギー性鼻炎の治療法の一つに、アレルギー免疫療法があります。アレルギー免疫療法は、アレルギー性鼻炎の長期にわたる臨床的寛解を期待できる治療法であり、100年以上も前から行われている治療法で、主にはアレルギーを含む治療薬を皮下に注射する「皮下免疫療法 (SubCutaneous Immuno Therapy : SCIT)」が行われていますが、近年、治療薬を舌の下に投与する「舌下免疫療法 (SubLingual Immuno Therapy : SLIT)」が登場しました。実は、アレルギー免疫療法は耳鼻科においては歴史が古く、1963年に家塵のアレルギーエキスを市販されて以降、家塵ダニアレルギー性鼻炎に対してSCITが行われていました。しかし、1980年代に中枢抑制や抗コリン作用が少ない第2世代抗ヒスタミン薬が登場し、更に効果の高い鼻噴霧用ステロイド薬も使用されると、対症

療法として効果的であるこれらの薬剤が多く使われるようになり、アレルギー免疫療法が施行される頻度が少ない状況が続きました。このような中、1999年にスギのアレルギーエキスを標準化され、再び大学病院の耳鼻科などを中心にスギ花粉症に対するSCITが積極的に実施されるようになりましたが、医療者側にとってアナフィラキシーの危険性が大きいにも関わらず安価であることが専門的な治療を行う施設のみでの施行に限られ、普及へのネックになっていたと言われています。一方のSLITは、免疫療法と薬剤投与のためのeラーニングを受講するだけで手軽に非専門医でも行うことのできる治療法であり、患者さんにとっても、自宅でき、副作用も少なく、注射の痛みもないため、手軽にできる方法と言えます。

すでにSLITを実施し、よい結果を得た方のご家族や医療従事者など、自ら希望され受診される患者さんも少ないながらもいらっしゃいますが、導入のきっかけのうち大半は我々医師からの提案によるものであり、SLITは医師からのアプローチが必要な治療であると言えます。特に小児の場合は、保護者の納得と決意が導入を成功させるためのポイントであり、保護者への

適切なアプローチが重要と考え、アレルギー性鼻炎の患児と出会った際には、SLITを実施できるお子さんかどうかを見極めたいうえで、保護者との信頼関係を築き、保護者に適切なアプローチをすることが大切であると考えています。SLIT実施例において薬物療法を効果的に組み合わせると、対症療法薬の使用が開始2～3か月で不要となるケースも散見されますので、まずは効果が出始める2～3か月間頑張ってみることを勧めています。また、数年間の治療継続が必要であることを説明した際に、治療期間が長いと感じられた患者さんには、数年後に薬物療法が全く必要なくなる可能性について言及し、SLIT導入の価値に関してお話しするようにしています。その結果、患者さんの意識にも変化が見られるようになることを多くのケースで実感しています。数年後の状態が想像できるようにゴールを明確にすることが、SLIT開始のモチベーションにつながると考えています。実際の導入に際しては、IgE高値のアトピー性皮膚炎の重症例や食物アレルギーの重症例など、いわゆるハイリスクと考えられる症例に対しては慎重な検討が必要になります。食物除去療法を行っている患者では導入は避けた方が賢明ですし、ほとんど発作のない軽症の喘息例に対して導入を検討する場合には、開始前に呼吸器内科を受診していただくようにしています。小児科や呼吸器内科・皮膚科の先生方との連携が重要なことは言うまでもありませんが、ダニアレルゲンエキスの標準化を契機に、日本アレルギー学会が、これら診療科を超え、ダニアレルゲンによる通年性アレルギー性鼻炎だけでな

く、アトピー型喘息に対してもアレルゲン免疫療法が適切に実施されるように手引きを作成していますので、興味のある先生はご一読されることをお勧めします。

SLITは、SCITのような閾値検査は必要とせず、すべての患者に同じスケジュールで治療抗原を投与できます。増量期（製品毎に異なりますが）の後、維持量の投与を一般的には3～5年行う必要がありますが、SLITは全身性副反応が少ない反面、軽度の局所反応は投与開始後1～2か月に高率に発生するため、不安になり途中で脱落する患者も多いと言われており、海外では継続率が3割程度との報告もありますが、日本では8割との報告もあり、真面目な性分の日本人に向いている治療と言えるのではないのでしょうか。スギ花粉症も低年齢化が進んでいます。ダニアレルギーは圧倒的に小児に多い疾患です。ダニはアレルギー性鼻炎・結膜炎を引き起こすだけでなく、喘息やアトピー性皮膚炎の増悪因子としても重要です。ダニに感作されているとその後スギ花粉への感作率が高まることも明らかにされており、小児におけるダニアレルギーをコントロールするとその後の個人のアレルギー経過が修飾される可能性が高く、免疫療法はそれを可能にする治療法として有望と考えられています。日本では、2014年10月からスギ花粉エキスが、2015年12月からダニの錠剤が発売開始となりましたが、2018年には12歳未満の小児のスギ花粉症およびダニアレルギー性鼻炎に対しても適応が拡大となりました。今後なお一層の普及が期待されている治療法です。

宮大医学部学生のページ



活気ある学生生活へ

宮崎大学医学部 医学科4年 ^{はや}早 ^せ瀬 ^{りく}陸

昨年度宮崎大学医学部学生会の代表として、こちらの記事に執筆させていただきましたが、今年度もありがたいことに機会をいただき執筆することとなりました。昨年度は新型コロナウイルス感染症による規制が緩和されたことで、学生生活にさまざまな変化をもたらしたことをご紹介しましたが、今回はその第5類移行にともないさらに変化した点を中心に、学生を代表して学生生活の近況と学生自治活動を皆様にご報告いたします。

全国的に医学教育の国際標準化が進んでいることを受け、本学でも進級要件の見直しと改正が行われました。この改正により、臨床実習前に受験する定期試験に対してひっ迫感を感じる学生が現れたため、学生自治組織である学生会を中心に教務委員会と協議を行い、学年代表の学生が新たに定期試験の日程調節に参画することが決定しました。

また4年次に行われるPre-CC OSCEとCBTの共用化も本学の学生にとっては大きなインパクトを与えることとなりました。このことに対応すべく、学内の医療人育成推進センターを中心に、綿密な説明会と実習教育が実施されたことで、学生の抱える不安が少しでも取り除かれ、共用試験に対する意欲も高めることができたと思われま

課外においては、4年ぶりに九州・山口医科学学生体育大会（九山）および西日本医科学学生総合体育大会（西医体）が開催されました。久々の大会ということで、春期休暇や夏期休暇を存分に用いて部活動に勤しむ学生が多かったという印象です。サークル活動を円満に続けるべく、今年度より学生自治の総会である学生大会に各サークル代表者も参加することとなり、サークル費用をはじめ、各種イベントでの会計を学生全員で確認することができました。

今年度に入り、すでに行われた行事として新入生歓迎と医学部音楽祭がありますが、どちらも盛況のうちに終わることができました。特に清武文化会館にて開催された医学部音楽祭では、近年で最も多くの観客が来場し、各音楽サークルの練習の成果を大いに発揮することができたと思われま

今年のはじめには、医学部開講50周年記念事業の一環として清武キャンパスにある食堂と売店がリニューアルオープンされました。医学部食堂はスペースと座席が拡充され、売店は講義棟に移設され、新たにイトインの併設するローソンとして開店されました。オープンに先立

ち、学生代表である学生会執行部の役員は、生協組合の方々や売店運営の方々とも交流する機会をいただき、学生の要望を最大限受け入れてくださいました。この新しく整った場にて学生どうしの交流が盛んになり、多くの学生の生活に彩りが添えられるようになったことには間違いありません。事業を進めてくださった大学関係者の方々および生協組合の方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。

私個人としては今までの大学生活の中でも、

今年は特に時間の経過とともに学生生活や学修のプログラムが変化していくことを痛感いたしました。よりよい医学教育を創りあげるべく、教務側の方針を混乱なく学生に伝えるのみならず、学生の意見を教務側にフィードバックとして伝達していくことを自治会の活動として続けていきたい所存であります。

最後になりますが、日頃より我々学生および学生会にご理解とご協力を賜りありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



今年度学生大会終了後に撮影された執行部の集合写真（令和5年6月）



医学部食堂のリニューアルオープンセレモニー（令和5年1月）

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
7月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合の周知資料について ・「保育所における感染症対策ガイドライン」の一部修正について ・高齢者施設等における令和5年春開始接種進捗状況の実態調査①結果及び実態調査②への依頼について ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について（再周知依頼） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その54）」の送付について ・医療法人に関する情報の調査及び分析等に係る新たな報告制度について（ご協力依頼） ・令和6年度からの大規模非住宅建築物の省エネ基準の引き上げについて ・夏季の省エネルギーの取組について（周知依頼）
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者に係る入院対応について（依頼） ・新型コロナウイルス感染症の入院者数等の定点把握について ・新型コロナワクチンの接種に伴い副反応を疑う症状が生じた者への対応について（再周知） ・共済組合員証の無効通知について ・予防接種基礎講座の実施及び動画配信についてのお知らせ（予防接種従事者研修事業） ・令和6年度「病床機能再編支援事業」の実施意向調査について（依頼） ・公的職業紹介の機能強化と有料職業紹介事業の適正化について ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・令和5年7月7日からの大雨による被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて
8月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年5月8日以降の「新型コロナウイルス感染症等感染防止対策実施医療機関みんなで安心マーク」の医療機関外やホームページ等での掲示の終了について（再度のお願い） ・令和5年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・「令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和5年度調査）への協力依頼について」の送付について ・「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者認定制度」に関するリーフレットの送付及び調査へのご協力をお願い ・医療DXに関わる負担や不安への相談窓口について ・「携帯メールサービス」等の停電情報提供に関する各種サービスのご紹介について（お願い） ・RSウイルス感染症予防啓発リーフレットの送付について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・令和5年医療施設静態調査の協力依頼について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・GLP-1受容体作動薬の在庫逼迫に伴う協力依頼 ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について

送付日	文 書 名
8月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合における対応等に対する疑義解釈について ・「ケアプランデータ連携システム」利用事業所のWAMNET掲載開始について（情報提供） ・ファイザー社の乳幼児（6か月～4歳）用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の配送等について ・モデルナ社の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の配送等について ・ファイザー社の小児（5歳～11歳）用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の配送等について ・ファイザー社の12歳以上用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の配送等について ・高齢者施設等における医療機関との連携体制等にかかる調査の結果について ・令和5年台風第6号の影響による停電に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・令和5年台風第6号の影響による停電に伴う災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・令和5年台風第6号の影響による停電に伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その1）～（その4） ・公益信託美原脳血管障害研究振興基金2023年度研究助成金（美原賞）候補者の募集について ・義肢等補装具費支給要綱の一部改正について
8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の新型コロナワクチン接種について（その6） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（通知） ・新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いにおける初診からの電話や情報通信機器を用いた診療の実施状況の報告及び医療機関の把握について（周知） ・新型コロナウイルス感染症の入院者数等の定点把握に係る協力について（依頼） ・令和5年台風第6号の影響による停電に係る介護報酬等の取扱いについて ・令和5年台風第6号の影響による停電により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和5年台風第6号の影響による停電に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・「医薬品供給不足 緊急アンケート」の実施について（協力依頼） ・暗証番号の設定が不要なマイナンバーカードへの医療機関・薬局での対応について（周知） ・令和5年度全国介護保険担当課長会議資料について ・医療法人に関する情報の調査及び分析等に係る新たな報告制度等について ・世界医師会（WMA）キガリ総会参加ツアーご案内の送付について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・検査料の点数の取扱いについて ・令和5年度ジェネリック医薬品軽減額通知の実施について

送付日	文 書 名
8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令附則第四項の規定によりなおその効力を有するものとされた同令第二条の規定による改正前の予防接種法施行規則及び感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令附則第四項の規定によりなおその効力を有するものとされた同令第三条の規定による改正前の予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について(通知)
8月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について(14版) ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」(自治体向け)の改訂について(18版) ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する予防接種法施行規則及び予防接種実施規則並びに「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について(指示)」の一部改正について ・令和5年7月7日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について(その4) ・令和5年7月7日からの大雨による被災に伴う労災診療費等の請求の取扱いについて ・財務省共済組合員証の無効通知について ・厚生労働省共済組合員証の無効について ・令和5年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について ・「がん征圧月間ポスター」等の掲示について ・「福祉施設・支援団体の方向けマイナンバーカード取得・管理マニュアル」の作成について(周知) ・令和5年度食生活改善普及運動の実施について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その55)」の送付について
8月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の新型コロナワクチン接種について(その7) ・新型コロナウイルス感染症に関する住民への注意喚起等の目安について ・日本医師会「地域に根ざした医師会活動プロジェクト」及び第1回シンポジウムについて ・がん対策推進基本計画のロジックモデルについて ・令和5年度第2回医療政策研修会及び第1回地域医療構想アドバイザー会議の開催について ・令和5年度全国学校保健・安全研究大会の開催について(依頼) ・日本学校保健会が主催する研修会の実施要項について(送付) ・在宅医療従事者等に対する暴力・ハラスメントに関する調査研究成果の提供について(情報提供) ・令和5年度(第74回)全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・令和5年台風第6号の影響による停電に伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について(延長) ・令和5年台風第7号に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和5年台風第7号に伴う災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・令和5年台風第7号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について

送付日	文 書 名
8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に関するシンポジウム「5類移行後の新型コロナウイルス感染症の現状と対策」のご案内について ・多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築支援研修について ・令和5年度「防災週間」及び「津波防災の日」について ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・へき地等において特例的に医師が常駐しないオンライン診療のための診療所の開設に関する質疑応答集（Q&A）について ・厚生労働省発出「令和5年度地域医療介護総合確保基金（事業区分6）からのお知らせについて」（ご案内） ・令和5年台風第7号に伴う災害に係る介護報酬等の取扱いについて ・令和5年台風第7号による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和5年台風第7号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その1）～（その4） ・令和5年7月豪雨に伴う避難所等における心身機能の低下の予防及び認知症高齢者等に対する適切な支援について（情報提供）
8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第10.0版」の周知について ・健康経営優良法人2024の申請受付について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（保健所における調査の終了、研究班への協力依頼） ・高齢者施設等における令和5年春開始接種進捗状況の実態調査②結果について ・介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等ベースアップ等支援加算に関するQ&A（vol.2）の送付について ・「緊急安全性情報等の提供に関する指針について」の一部改正について及び同指針に関する質疑応答集（Q&A）について ・令和4年度 販売情報提供活動監視事業報告書について
8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファイザー社の乳幼児（6か月～4歳）用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の配送等について」の一部変更について ・「ファイザー社の12歳以上用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の配送等について」の一部変更について ・「モデルナ社の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の配送等について」の一部変更について ・厚生労働省委託事業 令和5年度「医療情報セキュリティ研修及びサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査事業」について ・職場における熱中症予防対策の徹底について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・「ONLINEホテル予約サービス（日本医師会 会員特別割引）」新規提携ホテルの優待価格利用開始について ・「医療法人の事業報告書等の様式について」の一部改正について ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・令和5年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（広島大会）の開催について（通知）

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

日本医師会員向けキャッシュレスサービス

会員みなさまの経営を支える低手数料のキャッシュレスサービス

手数料率 **1.45%** ※1
日医会員かつ
Visa/Mastercard® の
場合のみ

日医会員
限定

初期費用
利用料
無料
電子マネー除く

▶ 詳しくは下記サイトをご確認ください。

基本プラン		日医会員の手数料率
各種クレジットカード		1.45% ※1 (非課税)
		低率の手数料でご利用いただけます。詳しくは日医会員サイトをご確認ください。

※1 当サービスをご利用中の医療機関様にも決済手数料1.45%が適用されます。適用開始日時は近日中に紹介サイトでお知らせいたします。

オプションメニュー		日医会員の手数料率
各種交通系ICカード 電子マネー	 	2.53% (税込)

※電子マネーのご利用には月額550円(税込)の利用料がかかります。クイックペイの利用も調整中です。

その他決済種別		参考手数料率
QRコード決済		1.20%~

※JPQRは総務省の紹介サイトからお申込みください。 <https://jpqr.paymentsjapan.or.jp/>

紹介サイト | [ORCAMO キャッシュレス](#) または、右記二次元バーコードよりアクセスしてください。
お問い合わせ | orca-cashless@pm.orcamo.co.jp



日本医師会 ORCA 管理機構 〒113-0021 東京都文京区本駒込六丁目1番21号 コロナ社第3ビル6階 電話:03-5981-9683(営業企画部)

あとかき



子どものころから野球チームに所属していた私は、野球から多くのことを学びました。一つが挨拶です。小学3年生で入部した際、先輩が目に入ったときは帽子をとって大きな声で、「先輩こんにちは〜」と挨拶するようにと教えられました。遊びのように先輩を探し挨拶していたのが懐かしいです。挨拶できる人は好印象を持たれます。世の中が変わっても、人と人が作

っている社会です。嫌な人より、いい人と思われた方が得をします。診療中、挨拶ができた子どもは、褒めるようにしています。挨拶することは恥ずかしいことはなく、いいことなのだとわかってもらいたいからです。

もう一つは、チームのために自分ができるとやるという精神です。プレーで貢献するだけでなく、負担がかかっている選手に気づき、手伝い、元気のない選手へは声掛けをし、目立たない裏方の仕事を率先してすることです。先日、清原和博さんが夏の甲子園に出場した息子さんへコメントを出されました。春の選抜ではレギュラーであった息子さんは、夏は控え選手でした。それでも懸命にチームに貢献しようとする姿を見て、「自分の甲子園13本のホームランより価値がある、親として尊敬の念を持っています。」というものでした。

今、降りかかる出来事が野球と同じような気がしています。50代になってあのころのようにチームのことを考えて、生きていけることに幸せを感じています。育ててくれた野球に感謝しています。(石田)

* * * * *

家族で宮城県に行ってきました。青葉城跡や松島観光の後、気仙沼、南三陸と巡り、東日本大震災の遺構や伝承館も見学しました。TVで何度もみた骨組みだけ残った防災対策庁舎や校舎の3階まで大きく破壊された学校、建物の3階まで打ち上げられた船や車など、震災の激しさ恐ろしさを目の当たりにし、日常のありがたさをかみしめることができました。もちろん、朝市やお鮎屋さんで殻付きウニや牡蠣、さばきたてのホヤ、こちらでは珍しいメカジキやフカヒレ、日本酒など、グルメもかみしめるいい旅行になりました。(稲倉)

* * *

7月号のあとかきで予防接種健康被害救済制度について書かせていただきました。新型コロナワクチンに関して、7/31までの公表分によると、通達受理件数8,388件で認定3,586件、否認508件、保留118件でした。死亡認定(死亡一時金、葬祭料)は6月37件、7月45件で累計149件となっています。なお、未審査が4,176件ありますが、これまでのところ、審査されたうちの約85%が認定されているようです。

(高橋)

* * *

毎年のように「今年は暑くなる」とか、「10年に一度の〇〇」という言葉を聞いている気がします。それだけ地球規模で気候変動が起り続けているということなのでしょうが、心や身体がそれについていけなくなっているような…。医学の世界も常に新しい情報が出てきます。「いかにして効率よく情報を取得し整理するか」という能力が求められていますが、なんとかそれにはついていきたいと思っています。

(早川)

4年生の11月末から始まったクリクラⅠの実習も、残すところ1か月となりました。このクリクラⅠでは将来自分がなりたい科を探すことを目標の1つにしていました。先輩たちを見ているとクリクラⅠが終わるころには大体この科に進みたいというのは決まっているものだろうと思っていましたが、いろいろな科を見てどの科もその科ごとに特色があり、ますます迷っている状況で困っています。11月から始まるクリクラⅡでは気になった科をもう一度回って知識もつけながらまだまだ考えていきたいです。(鍛冶川)

* * *

今年8月、実に4年ぶりとなる西医体が開催されました。自身初出場で大変緊張していましたが、怪我なく終えることができてほっとしております。軟式テニス部としては男子個人3位、女子個人優勝・準優勝、女子団体優勝という結果でした。コロナ禍で中止が続いたものの、努力してきたことが報われたと実感しています。引退される先輩方とも9月末の全医体まで一緒に練習できることになり、嬉しい限りです。全医体も頑張ります。(金城)

* * *

5類相当にコロナがなっても診療所開設者がかかれば休診やむなしの状況は変わらない。経験したことのない夏のインフル流行をはじめ各種ウイルスオンパレードの小児科外来。前期高齢者に突入した身にとっては、夏場の外での診療が去年に比べ体力の消耗を加速させているのは事実である。しばらくの間は診療報酬面での特例措置の持続を切に願うばかりである。(高木)

今月のトピックス

会長のページ かかりつけ医

会長のページではかかりつけ医の話題です。かかりつけ医は国民が選ぶものであり、国民にかかりつけを持つことを義務付けたり、強制的に割り当てたりするものではないとの方針であります。面としてのかかりつけ医機能の重要性についても説明いただきました。奇しくも8/7の広報委員会での若手記者との勉強会において、かかりつけについての議論を行っておりました。活発な勉強会ができたと自負しております。

3 ページ

日州医談 医師国保組合の統合・合併はあるか？

日州医談では、医師国保組合の統合、合併はあるか？について佐々木理事から医師国保組合の成り立ちから、将来への合併の動きなどについて説明していただいております。各支部の事情から合併は簡単では無いようであり、今後保険料の値上げも必要であるとのことでした。

4 ページ

随 筆

随筆では、石橋先生の春の生駒高原や、谷口先生の昆虫食の時代到来、上田先生の永く続くために、ペース配分の難しさ、杉田先生の開業についてなど多彩な話題を提供していただいております。すべて楽しく拝読させていただきました。

7 ページ

日 州 医 事 第889号(令和5年9月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会 長 河 野 雅 行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,

長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 鍛治川雄登, 山本 樹, 境 笙太郎, 金城 由歩

担 当 副 会 長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学 術 広 報 課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)